VIERA
ビエラ・ワンセグ

Panasonic®

取扱説明書

ポータブルテレビ

品番 SV-ME650

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に**「安全上のご注意」（59 ～ 62 ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

水のかかるところでご使用の前に ▶ 4、5 ページを必ずお読みください。

困ったときは? ▶

こんな表示が出たら　：47 ページ
故障かな !?　：48 ～ 50 ページ
Q&A（よくあるご質問）：50 ページ

保証書別添付

VQT2T90-1

付属品

付属品をご確認ください。記載の品番は、2010 年 3 月現在のものです。

□ **AC アダプター** (RFEA503J)
□ **USB 接続ケーブル** (K1HY04AD0002)
□ **バッテリーチャージャースタンド** (RFEB039G)
□ **外付けスタンド** (RFA3151)
□ **CD-ROM**

- **本機はリチウムイオン充電式電池を内蔵しています。**
- **SD カードは別売です。録画などをする場合は SD カードをお買い求めください。**
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。

別売品のご紹介（2010 年 3 月現在）

ステレオインサイドホン　RP-HJE350

まずお読みください

■ テレビ放送について

本機は地上デジタル放送（ワンセグ）を受信して視聴することができます。
2011 年 7 月のアナログ放送終了後も引き続き、ワンセグのテレビ放送をお楽しみいただけます。

ワンセグ（地上デジタルテレビ放送 1 セグメント部分受信サービス）とは

携帯端末向けの地上デジタルテレビ放送で、UHF 電波を使い、屋外を移動しながらでも映像と音声、さらにデータ放送を楽しめるのが特長です。2006 年 4 月 1 日より、NHK および民放各社からサービスが開始されています。（お住まいの地域によっては、放送されない地域もあります）

- ワンセグについて詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
  社団法人　デジタル放送推進協会　http://www.dpa.or.jp

- 緊急警報放送、データ放送サービスには対応していません。
- 画面が小さい携帯端末用の放送サービスのため、画質が粗く感じられたり、映像の動きがなめらかでないことがあります。
- 放送エリア内でも、地形や構造物といった周囲の環境、本機を使用する場所や向き、電波状況によっては受信できないことがあります。

■ 記録内容の補償はできません

- 本製品におけるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品またはSDカードの不具合で録画や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■ 本書内の表記とイラストについて

- 本書では、本機で使用できるカード(P53)を「**SD カード**」、バッテリーチャージャースタンドを「**チャージャースタンド**」と記載しています。
- 本書内の写真は、説明のためスチル写真から合成しています。また、本書内の製品姿図・イラスト・画面などは実物と多少異なりますが、ご了承ください。

もくじ

「安全上のご注意」を必ずお読みください。（59 ～ 62 ページ）

安全上のご注意
準備
テレビ放送を見る
録画する
ビデオ再生する
音楽を聴く
写真を見る
各種設定
その他

準備

テレビ放送を見る

録画する

ビデオ再生する

音楽を聴く

写真を見る

各種設定

その他

1. 防水について（ご使用前に必ずお読みください）

■ 本機の防水性について

本機は、JIS C 0920（IEC 60529）「電気機械器具の外郭による保護等級（IP コード）」のIPX6/IPX7 相当の防水仕様となっています。

IPX6（噴流に対する保護等級）

本機から約 3 m 離れて、内径 12.5 mm のノズルであらゆる方向から約 100 L/ 分の水を 3 分以上注水したあと、本機の機能が動作することに対応しています。温水には対応していません。

IPX7（浸水に対する保護等級）

常温の水道水にて、水深 1 m に本機を静かに沈め、30 分間放置して取り出したあと、本機の機能が動作することに対応しています。水中に落下させたり、水中で操作したり、お風呂などの温水につけることには対応していません。

防水対象の液体	対応	真水、水道水
	非対応※	石けん水、シャンプー、入浴剤、洗剤、温泉水、プールの水、海水

※ 非対応の水中につけないでください。

■ 水のかかるところ（浴室や台所など）で使用するときは以下のことをしないでください

- **AC アダプターを接続したり、チャージャースタンドを使用しない**
  ぬれた手などで触ると感電の恐れがあります。
- **ヘッドホンを接続して使用しない**
  端子に水滴が付くと、誤動作したり端子がさびる恐れがあります。
- **カードふたを開けて、SD カードを入れたり交換したりしない**
  水滴が付いて端子がさびるなど、故障の原因になります。

カードふたと端子ふたをしっかり閉じていても以下のことをしないでください

- **故意に水の中に入れない**
  誤って湯ぶねに落とした場合は、すぐに拾って柔らかい布のようなものでふいてください。
- **石けん水やシャンプーなどの液体をかけない**
  誤ってかかった場合は、速やかに洗い流し、柔らかい布のようなものでふいてください。
  ① 常温の水道水を弱めの水量にして洗い流してください。（洗剤で洗わないでください）
  ② ドライヤーなどの熱風で乾かさないでください。
- **浴室など湿気の多い場所に放置しない**
  使用後は、柔らかい布のようなもので水滴をふきとり、浴室から持ち出して室内に置いてください。
- **サウナで使用しない**
- **寒い屋外から急に浴室に入れて使用しない**
  本機が冷えた状態で、浴室など湿度の高い場所に移動させて使用したときは、つゆつきが起こり、本機内部に水滴が付くことがあります。

■ 防水性を保つには、以下のことに気をつけて取り扱ってください

- **本機を落としたり、ぶつけたり、強い圧力をかけない**
  本機が変形や破損し、防水性が保てなくなります。
- **スピーカーの穴を先端のとがったもので押さない**
  スピーカーが破損し、防水性が保てなくなります。

■ カードふた、端子ふたの取り扱いについて

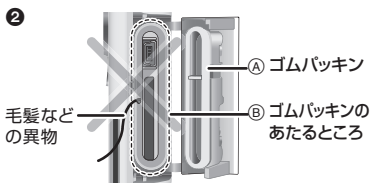
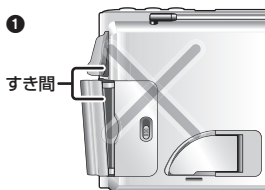
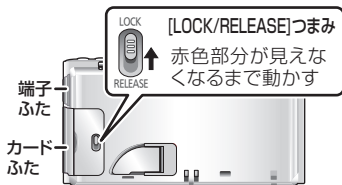
ふたをしっかり確実に閉じてください。

ふたが開いたまま使用すると本機内部に水が入り故障します。以下の場合でも内部に水が入り故障します。

❶ ふたが完全に閉じられておらず、すき間がある

❷ ゴムパッキン (Ⓐ)、ゴムパッキンのあたるところ (Ⓑ) に毛髪、糸くず、砂、ほこりなどの異物が付着したまま閉じている

❶

❷

- カードふたには [LOCK/RELEASE] つまみを備えています。
  ご使用前に必ず [LOCK/RELEASE] つまみの赤色部分が隠れていることを確認してください。
- ゴムパッキンにひび割れや変形がある場合は、そのまま使用しないでください。

防水性を維持するため、2 年に 1 度はゴムパッキンなどの防水に関する部品の交換 (有料) をおすすめします。

- **手がぬれた状態や本機に水滴が付いたままでふたを閉めないでください。**
  水滴が付いて端子がさびるなど、故障の原因になります。

■ 水のかかるところでご使用後のお手入れ

- **本機をしっかり持ち、軽く振ってスピーカーなどに付いた水滴を落としてから、乾いた柔らかい布のようなもので本機をふいてください。**
  寒冷地で、水滴が付いたまま放置しておくと凍結し、ふたが開かなくなるなど故障の原因になります。
- **汚れがひどいときは、水に浸した布を絞ってから汚れをふき取り、そのあと乾いた柔らかい布のようなものでふいてください。**
  ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤、浴室 / 浴槽洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがありますので、使用しないでください。

■ スピーカーについて

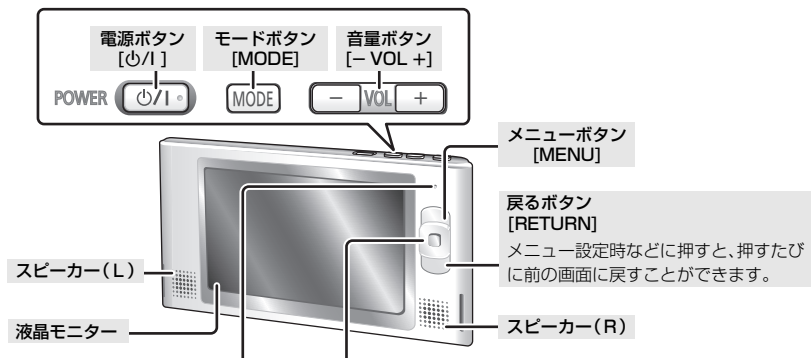
スピーカーに水滴が付いていると、音が小さくなったりひずむことがあります。水滴を乾いた柔らかい布のようなものでふき取り、しばらく乾燥させてからご使用ください。

万一、本機に水が入った場合は使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。お客様の誤った取り扱いが原因の浸水による故障の場合は保証対象外となります。なお、付属品は防水仕様ではありません。(外付けスタンドを除く)

2. 各部の名前

電源ボタン
[⏻/I]
モードボタン
[MODE]
音量ボタン
[– VOL +]
POWER
MODE
VOL
メニューボタン
[MENU]

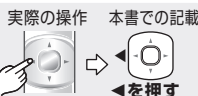
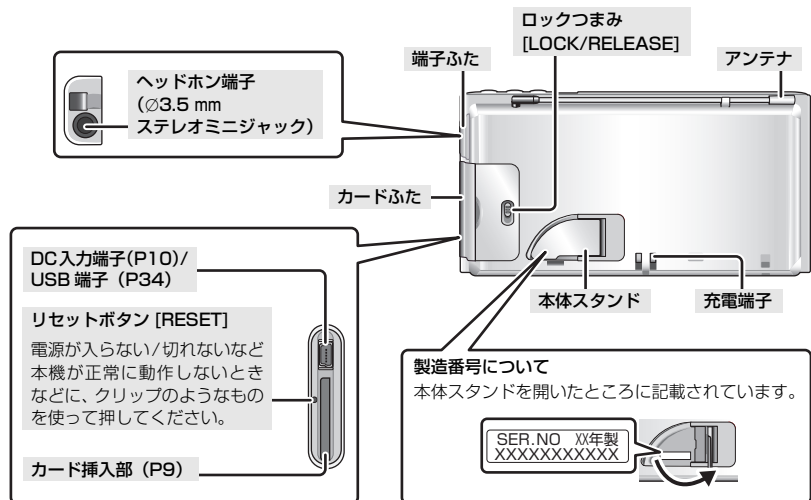
戻るボタン
[RETURN]
メニュー設定時などに押すと、押すたびに前の画面に戻すことができます。

スピーカー（L）
スピーカー（R）
液晶モニター

動作表示ランプ

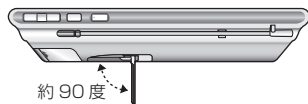
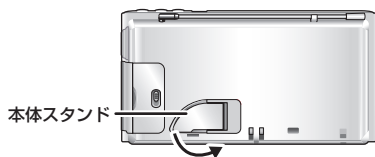
点灯	充電中
点滅 （約1秒間隔）	録画（準備、中断）中
点滅 （約3秒間隔）	音楽再生中、 画面表示オフ中 （テレビ視聴中やビデオ再生時）

十字キー
チャンネル操作、再生操作、モード・メニュー設定時などに押して操作します。

本書での十字キー操作の表現

例：左を押すとき
実際の操作　本書での記載
◀を押す

例：中央を押すとき
実際の操作　本書での記載
中央を押す

3. 本体スタンドとアンテナの使いかた

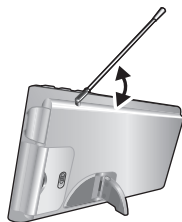
本体スタンドの使いかた

矢印の方向に開くと、本機を手で持たずに立ててテレビ放送などを見ることができます。

お知らせ

- ボタン操作をするときなど、本機を操作するときは本機を手で支えながら操作してください。
- 本体スタンドは、約 90 度に開いた状態で使用してください。それ以上無理に開いて使用すると、本機が倒れやすくなったり、本体スタンドが変形し、破損する場合があります。

アンテナの使いかた

テレビ放送を見る場合は、アンテナを立ててください。

- アンテナは矢印の方向に動かしてください。液晶モニター側や本機裏面側に動かすことはできません。
- テレビを見ないときや録画をしないときは、アンテナを元の位置に戻してください。
- アンテナに無理な力を加えないでください。また、アンテナをつかんで本機を持ち運ばないでください。アンテナが破損するなど故障の原因になります。

4. ホールド設定

ホールド設定をオンにすると、ボタン操作を受け付けなくなり、再生が中断するなどの誤操作防止になります。また、ご使用後かばんの中などに入れて持ち歩くときに、ボタンが押されても電源が入らないようにします。

- 電源「切」の状態でもホールド設定 / 解除することができます。

[MENU] ボタンを約 2 秒以上押したままにする

- 設定のメッセージが表示されるまで押したままにしてください。

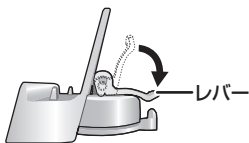
◇ ホールド設定を解除する

[MENU] ボタンを約 2 秒以上押したままにする

- 解除のメッセージが表示されるまで押したままにしてください。

5. 外付けスタンドを使う

外付けスタンドには吸盤が付いています。固定して使えるため浴室などで使用する場合に便利です。

❶ 外付けスタンドを水平なところに置き、レバーを矢印の方向に下げて固定する

- レバーを下げる前に、吸盤部分が密着するように外付けスタンドを押しつけてください。
- レバーを下げたあと、しっかり固定されていることを確認してください。

❷ 本機を外付けスタンドに載せる

- 本体スタンドを折りたたんでおいてください。

■ 取り外す

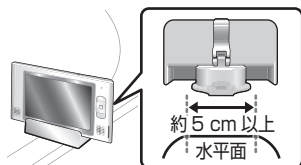
1　本機を外付けスタンドから外す

2　外付けスタンドを外す

❶ 外付けスタンドのレバーを上げる
❷ 吸盤のつまみを持って外す

- 必ずレバーを上げてください。レバーが下がったままで外そうとすると、外付けスタンドが破損する恐れがあります。
- レバーを上げても吸着したままになることがあります。この場合は吸盤のつまみを持って外してください。

外付けスタンドの設置場所について

- 浴槽の縁など狭いところで使用する場合は、幅約5 cm以上の水平面に設置してください。
- 設置後、本機を載せる前に外付けスタンドがしっかり固定されていることを確認してください。
- 水のかかるところで使用する場合は、本機のカードふた/端子ふたを確実に閉じておいてください。

お知らせ

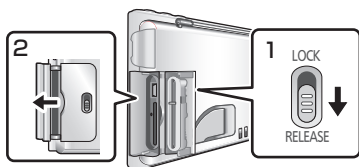
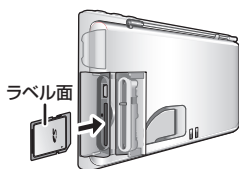
- 外付けスタンドは以下の使いかたをしないでください。
  本機やスタンドが外れて落下し、本機が破損したり、けがをする恐れがあります。
  - 壁などの垂直面や傾斜面に固定して使用しない
  - 本機を外付けスタンドに取り付けたまま持ち運ばない
  - 凹凸のあるところに設置しない
  - 頭より高いところに設置しない
  - 車のダッシュボードの上に設置しない
- 外付けスタンドを回転させないでください。外付けスタンドが破損する恐れがあります。
- 本機を操作するときは、本機を手で支えながら操作してください。
- 吸着が悪くなった場合は、吸盤部分についたほこりなどを水で洗い流し、軽くふいてから設置してください。
- 浴室など湿気の多いところで使用したあとは、浴室から持ち出し室内に置いてください。
- 長期間使用しないときは、外付けスタンドのレバーを上げて吸着を解除してください。

6. SD カードを入れる / 取り出す

SD カードの出し入れは、本機の電源を切った状態で行ってください。

❶ カードふたを開ける

1 [LOCK/RELEASE] つまみを [RELEASE] 側へ動かす

2 カードふたを引き出し、開ける

❷ SD カードを入れる（出す）

入れるとき

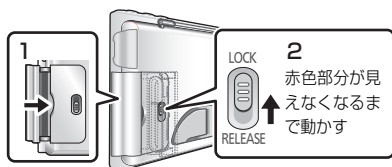
SD カードの向きに気をつけて、「カチッ」と音がするまでまっすぐ奥まで入れてください。

出すとき

SD カードを「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き出してください。

❸ カードふたを閉じる

1 カードふたを閉じ、まっすぐ押し込む

2 [LOCK/RELEASE] つまみを [LOCK] 側へ動かす

- カードふたが確実に閉じているかを確認してください。

microSDカード/miniSDカード

microSDカードやminiSDカードは専用のアダプターに装着して、本機に挿入してください。

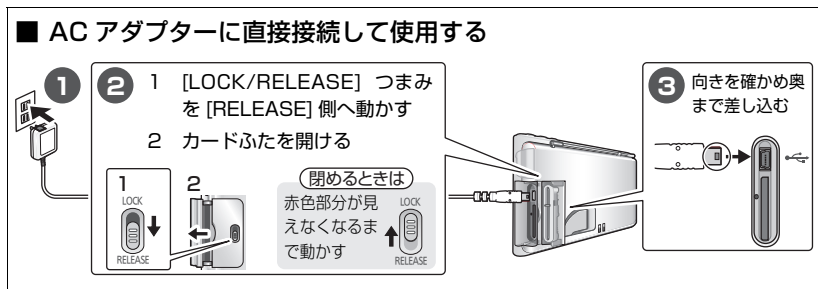
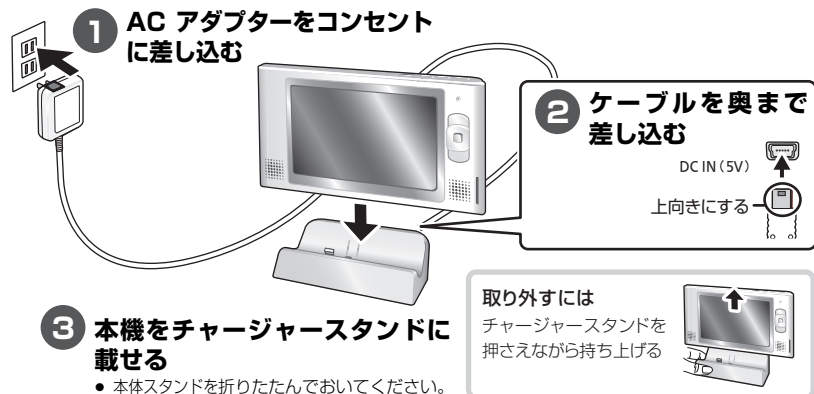
SDカードの書き込み禁止スイッチ

スイッチを「LOCK」側にしておくと、SD カードへの書き込みやデータの消去、フォーマットはできなくなります。戻すと可能になります。

お知らせ

- パソコンなどに接続して転送中や、再生中、録画中は、SD カードを取り出さないでください。転送中や録画中に取り出すと、SD カードの内容が破壊される場合があります。
- SD カードをご購入後はじめて使用される際は、本機で SD カードをフォーマット（P45）することをおすすめします。
- ぬれた手で SD カードを出し入れしたり、水のかかるところで出し入れをしないでください。
- 本機に水滴などが付いているときは、水滴を柔らかい布のようなものでふき取ってから SD カードを出し入れしてください。

7. 電源の準備をする

AC アダプターを使用すると、電池残量を気にせずに部屋などで長時間連続してテレビ放送などを視聴できます。

本機に水滴が付いているときは

本機に水滴などが付いた状態でチャージャースタンドに載せたり、AC アダプターを接続しないでください。この場合、柔らかい布のようなもので水滴をふき取ってから電源の準備をしてください。

お知らせ

- チャージャースタンドは防水仕様ではありません。水のかかるところで使用しないでください。
- ぬれた手で AC アダプターを接続したり、水のかかるところで AC アダプターを使用しないでください。
- AC アダプターは本機専用です。必ず付属の AC アダプターを使用してください。また、付属の AC アダプター以外をチャージャースタンドに使用しないでください。
- 本機を操作するときは、本機を手で支えながら操作してください。
- 本機をチャージャースタンドに取り付けたまま持ち運ばないでください。本機が外れ、落下するなどして破損します。

8. 充電する

お買い上げ時、充電式電池は充電されていませんので、充電してからお使いください。

- 本機はリチウムイオン充電式電池を内蔵しています。製品廃棄のとき以外は取り外さないでください。

1 （電源が入っている場合は）[⏻/I] ボタンを押して電源を切る

2 AC アダプターを使って電源の準備をする（P10）

充電中は

動作表示ランプが点灯します。

充電が完了すると

動作表示ランプが消灯します。

内蔵電池について

充電時間

通常充電時	約 5 時間
エコ充電時	約 4 時間

– 周囲温度 25 ℃で充電時
– 電池を使い切った状態から充電時

充電回数

通常充電時	約 500 回
エコ充電時	通常充電時の約 2 倍

電池残量表示について

表示が消えているときは、十字キーの ▲ を押すと確認できます。

- 表示が消えた状態でも「　」になると常時表示に切り換わり、しばらくすると電源が切れます。「　」表示に変わったときは早めに充電してください。

☞ 電池持続時間については：P57

エコ充電の設定

※ はじめてお使いの場合は、まずチャンネル設定をしてから、設定してください。

☞ チャンネル設定をする：P12

通常充電にするか、エコ充電にするかを設定します。お買い上げ時は「オフ」（通常充電）に設定されています。

通常充電（オフ）：

100% の充電になり、1 回の充電で長時間使用したい場合に向いています。

エコ充電（オン）：

90% の充電で充電完了になり、電池寿命（充電回数）を長持ちさせたい場合に向いています。
（電池持続時間は通常充電の 90% になります（P57））

- 電源を入れておく（P12）

1 [MENU] ボタンを押す

2 ▲/▼ で「その他の機能へ」を選び、中央を押す

3 ▲/▼ で「初期設定」を選び、中央を押す

4 ▲/▼ で「エコ充電設定」を選ぶ

5 ◄/► で「オフ」または「オン」を選ぶ

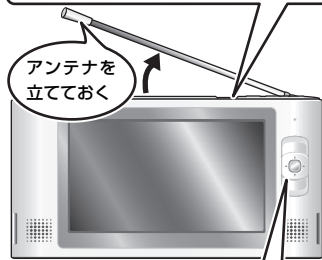
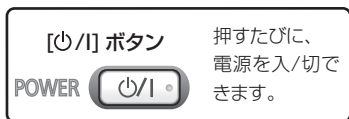
オフ：通常充電
オン：エコ充電

◇ メニュー画面を消すには

[MENU] ボタンを押してください。

お知らせ

- 電源が入っているときでも充電されますが、満充電になるまで約 10 時間かかります。（お買い上げ時の設定の場合）また、充電中の表示はされません。
- 電池残量を使い切らなくても、継ぎ足し充電が可能です。
- 充電は周囲温度 5 ℃～ 35 ℃で行ってください。

9. 電源を入れてチャンネル設定する

都道府県（地域）に登録されているチャンネルについて

放送局名は、2010 年 3 月時点の放送局運用規定に基づいています。

- ご使用の地域によっては、電波状況が悪いチャンネルも登録されている場合があります。
- ワンセグサービスが開始されていないチャンネルも登録されていますが、サービスが開始されるまでは視聴できません。
- 登録されているチャンネルの放送局名や周波数は、将来変更になる場合があります。

[⏻/I] ボタンを押して電源を入れる

お買い上げ時はチャンネル設定されていません。以下の手順でチャンネル設定をしてください。

- チャンネル設定はご使用になる場所で行ってください。

❶ 表示内容を確認し、十字キーの中央を押す

❷ チャンネル設定の方法を確認し、十字キーの中央を押す

❸ ▲/▼でご使用になる地域を選び、中央を押す

- 地域が特定できない場合は「チャンネルスキャン」を選び、手順 ❺ へすすんでください。

❹ ▲/▼ で都道府県を選び、中央を押す

❺ 表示内容を確認し、十字キーの中央を押す

現在設定中の場所で受信可能なチャンネルを調べて表示します。※

❻ 登録する放送局を確認し、十字キーの中央を押す

❼ ◀/▶ で「登録する」を選び、中央を押す

- 登録し直したいときは、「やり直す」を選んでください。

❽ 表示内容を確認し、十字キーの中央を押す

お知らせ

※ 都道府県（地域）に登録されているチャンネルと検索されたチャンネルが表示されます。（手順 ❸ で「チャンネルスキャン」を選んだ場合は、検索されたチャンネルのみ表示されます）

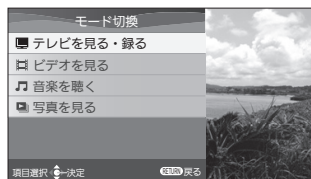
- 約 5 分以上操作しない場合、自動的に電源が切れます。（オートパワーオフ）
- 放送局は最大 18 局まで登録できます。
- ひとつのチャンネル内で複数の番組が放送されるサービスに対応するチャンネルがある場合は、放送局の末尾に「-2」「-3」が表示されます。

1. テレビ放送を見る

● アンテナを立てておく（P7）

❶ [MODE] ボタンを押す

MODE

❷ ▲/▼ で「テレビを見る・録る」を選び、中央を押す

- テレビ放送を受信します。番組情報表示はしばらくすると消えます。再度表示したいときは十字キーの ▲ を押してください。押すたびに表示 / 非表示を切り換えます。
- モード切換画面やメニュー設定画面では、1 分以上操作しない場合、切換 / 設定画面が消えます。

■ 番組を選ぶ

十字キーの ◀/▶ を押す

■ 音量を調整する

[VOL] ボタンの [−][＋] を押す

- 「0」～「25」の間で設定できます。
- お買い上げ時は「12」に設定されています。

チャンネル一覧から選局する

❶ テレビ放送を視聴中に [RETURN] ボタンを押す

上から順番に取得した番組名を表示します。

- 番組名取得中でも選局できます。

❷ ▲/▼ で見たい番組のチャンネルを選び、中央を押す

お知らせ

- すべての番組名を取得するのに時間がかかることがあります。
  - [RETURN] ボタンを押すと番組名取得を中止し、前の画面に戻ります。
- 番組名が「・・・取得失敗・・・」と表示されている場合は、電波状況が悪くて番組名の取得ができていません。
- テレビを視聴中に「現在のチャンネル一覧と異なる放送局を受信しています。設定を変更してください。」が表示される場合、チャンネル設定をしたときと異なる地域の放送を受信しています。チャンネルを設定し直してください。（P14）

● 映像の乱れがあるときは ●

屋内などで電波状況が悪い場合、映像や音声が止まったり乱れたりします。
場所を変えたり、アンテナの角度を調整してください。

2. チャンネル設定を更新 / 消去する

本機は「ホーム」「おでかけ」の 2 種類にチャンネルを登録できます。ご使用場所に応じて使い分けて登録しておくと、移動するたびにチャンネル登録し直す必要がないので便利です。

- チャンネル設定はご使用になる場所で行ってください。
- お買い上げ時に設定したチャンネルは（P12）、「ホーム」に登録されています。
- チャンネル設定は、更新するたびにチャンネルを新しく登録し直します。
- 設定したチャンネルは、電源を切っても保持されます。
- 「ホーム」「おでかけ」には、放送局をそれぞれ最大 18 局まで登録できます。

- 「テレビを見る・録る」モードにしておく（P13）
- アンテナを立てておく（P7）

❶ [MENU] ボタンを押す

❷ ▲/▼ で「テレビの設定」を選び、中央を押す

❸ ▲/▼ で「チャンネル設定」を選び、中央を押す

❹ ▲/▼ で「チャンネル一覧を更新する」を選び、中央を押す

❺ ▲/▼でご使用になる地域を選び、中央を押す

- 地域が特定できない場合は「チャンネルスキャン」を選び、手順 ❼ へすすんでください。

❻ ▲/▼ で都道府県を選び、中央を押す

❼ 表示内容を確認し、十字キーの中央を押す

現在設定中の場所で受信可能なチャンネルを調べて表示します。

❽ 登録する放送局を確認し、十字キーの中央を押す

❾ ◀/▶ で保存場所を選び、中央を押す

ホーム：ご自宅などよく利用する場所のチャンネルを登録する場合などに設定してください。
おでかけ：滞在先などでテレビを見る場合などに設定してください。

☞ ホーム / おでかけを切り換えるには:P15

チャンネルを消去する

❹ （上記手順 ❸ までしたあと）
▲/▼ で「チャンネルを消去する」を選び、中央を押す

❺ **▲/▼ で消去するチャンネルを選び、中央を押す**

❻ **◀/▶ で「はい」を選び、中央を押す**

◇ チャンネル消去画面を消すには

[MENU] ボタンを押してください。

お知らせ

- チャンネル一覧に登録されたチャンネルが 1 つしかない場合は、消去できません。

お知らせ

- 手順 ❼ でチャンネルを調べ終わったあと、1 分以上操作をしない場合は、登録せずに元のチャンネルに戻ります。

3. テレビの設定（ホーム↔おでかけの切換、字幕など）

- 「テレビを見る・録る」モードにしておく（P13）

❶ [MENU] ボタンを押す

❷ ▲/▼ で「テレビの設定」を選び、中央を押す

❸ ▲/▼/◀/▶ を押して設定する

設定項目を選ぶ：▲/▼ を押す
設定内容を選ぶ：◀/▶ を押す

◇ メニュー画面を消すには

[MENU] ボタンを押してください。

●お買い上げ時の設定

チャンネル一覧選択

登録したチャンネル一覧を切り換えます。

● ホーム　○ おでかけ

字幕

字幕放送に対応した番組が放送されている場合に、字幕を表示して視聴することができます。

● 非表示　○ 言語 1　○ 言語 2

※「言語 1」や「言語 2」に設定しても、対応する字幕情報がない番組の場合、字幕は表示されません。

二重音声

二重音声に対応した番組が放送されている場合に、二重音声を切り換えて視聴することができます。

● 主　○ 副　○ 主＋副

※ 二重音声に対応していない番組の場合、主音声での視聴になります。

音声

番組内で複数の音声信号が放送されている場合に、音声を切り換えて視聴することができます。（2010 年 3 月現在、ほとんどの番組は「音声 1」のみ放送されています）

● 音声 1　○ 音声 2

※「音声 2」に設定していても、以下の場合は「音声 1」に設定が変更されます。
- 電源を切ったり、チャンネルやモードを切り換えた場合
- 番組視聴中、「音声 2」の放送がなくなった場合

本体アンテナ受信感度

● **高感度**
テレビ放送を高感度で受信

○ **通常感度**
テレビ放送を通常の感度で受信
- テレビ塔の近くなど、電波が強すぎるときは「通常感度」に設定してください。

画面オフ設定

画面を消して、音声だけでテレビ放送を楽しむことができます。

● **常時画面オン**

○ **ホールド時画面オフ**
ホールド状態にすると画面が消え、動作表示ランプ（P6）が点滅します。
画面を表示するには、ホールドを解除してください。（P7）

お知らせ

- 「字幕」「二重音声」「画面オフ設定」の設定は、「ビデオを見る」モードの「ビデオの再生設定」の設定と共通です。

1. テレビ放送を録画する

受信したテレビ放送を、本機に入れた SD カードに録画することができます。

- 予約録画をする場合、事前に録画を開始する場所で予約録画のチャンネルが受信可能かを確認してください。また、予約録画中は本体とアンテナを立てた状態にしておいてください。
- 録画可能時間について、詳しくは 58 ページをお読みください。

視聴中の番組を録画する　今すぐ録画

- SD カードを本機に入れておく（P9）
- 「テレビを見る・録る」モードにしておく（P13）
- 録画したいチャンネルに変えておく

（テレビ放送を視聴中に）

十字キーの中央を長押し（2 秒以上押したままに）する

- 画面左下に「●録画中」または「●準備中」が表示されるまで押したままにしてください。

録画を開始します。
（動作表示ランプが約 1 秒間隔で点滅します）

AC アダプター使用時は、停止操作をするまで、最大約 8 時間録画し続けます。

■ 録画を停止するには

十字キーの中央を長押し（2 秒以上押したままに）する

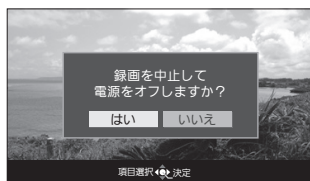
- 画面左下の「●録画中」が消えるまで押したままにしてください。

[MENU]ボタンを押して録画を停止することもできます。

1. [MENU] ボタンを押す
2. 十字キーの ▲/▼ を押して「録画を停止する」を選び、中央を押す

◇ 録画中に電源ボタンを押した場合

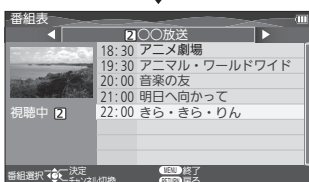
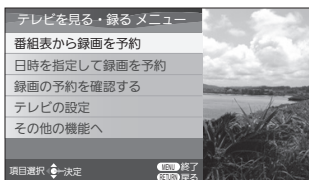
確認画面が表示されるので、十字キーの ◀/▶ を押して、「はい」または「いいえ」を選び、中央を押してください。

- 「はい」を選ぶと、録画を停止して電源を切ります。

☞ 録画した番組を再生するには：P23

番組表から録画を予約する　番組表予約

- SD カードを本機に入れておく（P9）
- 「テレビを見る・録る」モードにしておく（P13）

❶ [MENU] ボタンを押す

❷ ▲/▼ で「番組表から録画を予約」を選び、中央を押す

最大 10 番組まで表示されます。

- **放送局によって、番組表の番組数が少ないことがあります。**

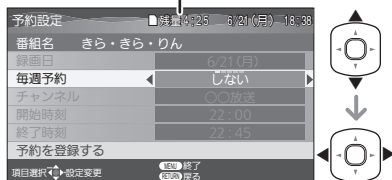
❸ ▲/▼/◀/▶ を押して予約する番組を選び、中央を押す

チャンネルを選ぶ：◀/▶ を押す
番組を選ぶ　　　：▲/▼ を押す

❹ ◀/▶ で「予約録画する」を選び、中央を押す

❺ ◇繰り返し録画しない場合
手順 ❻ へすすむ

◇繰り返し予約する場合
▲/▼ で「毎週予約」を選び、◀/▶ で設定する

SDカードの録画可能時間（時間と分で表示）

❻ ▲/▼ で「予約を登録する」を選び、中央を押す

◇ 番組表を消すには

[MENU] ボタンを押してください。

録画の予約をすると画面右下に「🕒」が表示されます。

- 録画の予約をしている場合でも、視聴中の番組を録画中は、「🕒」が表示されません。

電源を切っていても予約時刻になると録画を開始します。

- 電源を切る場合、本機とアンテナを立てて電波を受信しやすいようにしておいてください。

お知らせ

- 番組表にまだ表示されていない番組は、日時を指定して予約録画してください。（P19）
- 開始時刻が未定の番組は、録画を予約することができません。
- 終了時刻が未定の番組は、現在視聴中の番組のみ予約可能です。予約の終了時刻は、開始時刻の 8 時間後として録画を予約しますが、番組が 8 時間以内に終了すると、録画も連動して停止します。
- 録画可能時間が「残量 --：--」と表示される場合は、SD カードが入っていません。必ず予約録画開始時刻までに、本機に SD カードを入れてください。（P9）

■ 番組追従機能

本機は、番組表から予約録画した場合にスポーツ番組などの番組延長で、予約後に放送時間が変更されても、延長時間分を自動的に変更することに対応しています。

番組延長・短縮に対応

番組中断に対応

番組繰り下げに対応

- 最大3時間の繰り下げに対応しています。

放送時間変更に対応（「毎週予約」で設定時）

※1 繰り下げされた場合
※2 拡大放送された場合

お知らせ

- 番組追従機能は放送局から送られてくる番組情報に基づいて働いています。送られてくる情報、情報を受けるタイミング、電波の受信レベルによっては正しく番組追従できないことがあります。また、以下の場合は番組追従機能に対応できません。
  – 日時指定予約で録画した場合
  – 番組表で予約したあと、予約の日時やチャンネルを変更した場合
  – 番組表情報に放送時間の変更がない場合
  – 予約番組の放送開始時刻が予約録画開始時刻よりも早くなった場合
  – 開始時刻が繰り下げになった番組を番組表から「毎週予約」で予約した場合

  例：通常 21 時〜 22 時に放送される番組が、前の番組が延長になったことで 30 分繰り下げられ、番組表で 21 時 30 分〜 22 時 30 分になっている場合、その番組を「毎週予約」で予約すると次回以降も 21 時 30 分から録画を開始します。このような場合、次回の録画開始前に番組表から再度予約登録してください。

  – 予約録画の開始（終了）前までに開始（終了）時刻変更の情報を受信しなかった場合
  – 「毎週予約」を設定した場合、予約時と放送時で番組名が異なる場合
- 番組追従機能が働いて他の予約番組と重複した場合は、先に放送を開始した番組を優先的に録画します。

日時を指定して録画を予約する　日時指定予約

- SD カードを本機に入れておく（P9）
- 「テレビを見る・録る」モードにしておく（P13）

❶ [MENU] ボタンを押す

❷ ▲/▼ で「日時を指定して録画を予約」を選び、中央を押す

❸ ▲/▼/◀/▶ を押して予約内容を選ぶ

設定項目を選ぶ：▲/▼ を押す
設定内容を選ぶ：◀/▶ を押す

SDカードの録画可能時間（時間と分で表示）

- 録画日は 30 日先までの間で指定することができます。

❹ ▲/▼ で「予約を登録する」を選び、中央を押す

登録すると、予約一覧画面になります。

◇ 予約一覧画面を消すには

[MENU] ボタンを押してください。

録画の予約をすると画面右下に「◕」が表示されます。

- 録画の予約をしている場合でも、視聴中の番組を録画中は、「◕」が表示されません。

電源を切っていても予約時刻になると録画を開始します。

- 電源を切る場合、本機とアンテナを立てて電波を受信しやすいようにしておいてください。

お知らせ

- 録画可能時間が「残量 --：--」と表示される場合は、SD カードが入っていません。必ず予約録画開始時刻までに、本機に SD カードを入れてください。（P9）

本機での録画について

- ワンセグ放送には、番組の著作権保護のためにコピー制御信号（「録画不可（コピーネバー）」、「1 回だけ録画可能（コピーワンス）」、「録画制限なし（コピーフリー）」を制御する信号）が組み込まれています。本機はコピー制御信号に対応しています。
- 通常の地上デジタル放送とワンセグ放送では同じ番組が放送される場合が多いですが、それぞれ独自の番組が放送されることもあります。新聞や雑誌の番組表を見て予約した場合、ワンセグ放送で独自の番組が放送されていると、希望の番組と違う番組が録画されます。
- 本機で録画した番組をパソコンなどへエクスプローラで直接転送して見ることはできません。また、パソコンにコピーしたファイルをエクスプローラで本機に再度転送しても、再生することはできません。

■ 本機で録画したビデオファイルの再生機器について

本機で録画した番組は当社製レコーダーやテレビでは再生できません。また、他社製品で再生することは保証していません。

携帯電話などの再生対応機器については下記サポートサイトでご確認ください。

http://panasonic.jp/support/audio/

録画する

録画時のお知らせ

SD カード 1 枚あたりの録画可能番組数	最大 99 番組
予約可能番組数	最大 12 番組
連続録画時間	最大約 8 時間 （ACアダプター使用時）

※ 録画時はACアダプターの使用をおすすめします。内蔵電池のみで使用時は、最大連続録画時間や予約番組数に関係なく、電池持続時間内（P57）の録画となります。

以下の場合は録画できません。

- SD カードが本機に入っていない場合
- 本機に入れた SD カードが録画可能な SD カードでない場合
  - SD カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっている
  - 録画に十分な録画可能時間が残っていない
  - 録画可能番組数（最大 99 番組）が記録されている
  - 認識できないSDカード（サポート外のフォーマットなど）
- 電池残量表示が赤色になっているときや、電池残量がなくなった場合
- パソコンと接続している場合

予約録画開始時刻や録画中に上記の状態になると、予約録画はキャンセルされます。

以下の場合は録画が正しく行われません。

- 電波状況が悪い場合
- 予約録画の時間が重なっている場合

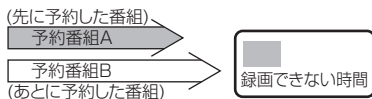
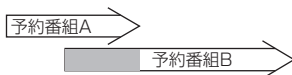
録画中は以下の操作はできません。

- 録画番組以外の番組を視聴
- チャンネル一覧の表示
- 音声の設定を変更
- 他のモードに変更
- チャンネル設定
- ホーム↔おでかけの切り換え
- 録画予約 / 予約確認
- 初期設定の変更

予約録画時間が重なっている場合は

予約時に、他の予約録画と重なっている場合は、重複予約の確認画面が表示されます。十字キーの ◀/▶ を押して「はい」または「いいえ」を選び、中央を押してください。

重複した場合の録画内容

録画開始時刻が同じときは、あとから予約した番組を録画します。

録画開始時刻がきた番組を録画終了時刻まで録画したあと、すでに開始時刻を過ぎている番組を途中から録画します。

◇ 前の予約番組の終了時刻と次の予約番組の開始時刻が同じとき

次の予約録画の準備のため、前の予約番組の終わり約 30 秒間が録画されません。

予約録画の開始時刻になると

録画予約すると、電源を切った状態でも録画が始まります。

- 録画中は、[⏻/I] ボタンを押して液晶モニターを点灯させたり消灯させたりすることができます。液晶モニターを消しても録画は継続されます。

予約録画 1 分前になると

動作表示ランプが約 1 秒間隔で点滅します。

- 電源が入っている場合、予約録画開始のお知らせ画面が 10 秒間表示されます。

- 予約録画するチャンネルに切り換わります。
- 予約録画をやめる場合、十字キーの ◀/▶ を押して「キャンセル」を選び、中央を押してください。
- 「OK」/「キャンセル」を選ばなかった場合でも予約録画は実行されます。

お知らせ画面が消えたあとは

「 準備中 」が画面左下に表示されます。電源ボタンと音量ボタン以外のボタン操作はできません。

予約をキャンセルする場合、録画開始後に録画を停止してください。

- 視聴中の番組を録画中（P16）に予約録画開始時刻になった場合、録画を停止しないと予約録画が開始されません。録画を停止するには 16 ページをお読みください。

予約録画が始まると

「 録画中 」が画面左下に表示され、動作表示ランプが約 1 秒間隔で点滅します。

- 録画終了後は、録画開始前に視聴していたチャンネルに切り換わります。

■ 予約録画中に録画を停止する場合は

十字キーの中央を長押し（2 秒以上押したままに）する

- 画面左下の「 録画中 」が消えるまで押したままにしてください。

[MENU] ボタンを押して録画を停止することもできます。

1 **[MENU] ボタンを押す**

2 **十字キーの ▲/▼ を押して「予約録画をキャンセルする」を選び、中央を押す**

■ 本機の時計について

本機ではテレビ放送を受信すると、自動的に時計が設定されます。（手動で設定することはできません）

- 時計表示は、予約録画や予約録画の確認画面でのみ表示されます。
- 本機の時計はワンセグ放送にあわせて時刻設定します。標準時刻とは若干ずれますが、予約録画内容に影響はありません。

■ 録画中に電波状況が悪くなると

録画が一時中断になり、「 録画中断（電波不安定） 」が画面左下に表示されます。電波状況が回復すると、表示が消えて録画を再開します。このような状況で録画された番組を再生すると、録画されなかった区間はとび越して再生されます。

■ 99 番組まで録画できない場合は

- 「高画質（VGA）」のビデオファイル（P24）がSDカードにあると99番組まで録画できません。レコーダーでこのファイルを消去してください。
- 他の機器やパソコンでビデオファイルの消去やフォーマットをすると、管理情報が残るため、99 番組まで録画できない場合があります。（「エラー発生のため録画を中止します。」と表示されます）SD カードのフォーマットは本機で行うようにしてください。（P45）

2. 予約録画を確認 / 変更 / 取り消しする

● 「テレビを見る・録る」モードにしておく（P13）

❶ [MENU] ボタンを押す

❷ ▲/▼ で「録画の予約を確認する」を選び、中央を押す

確認し、変更がなければ [MENU] ボタンを押して確認画面を終了してください。

- 録画時間の全部または一部が録画されなかった場合、「未実行履歴」が表示されます。この番組を選び、十字キーの中央を押すと、録画されなかった理由が 1 分間表示されます。未実行履歴も消去することができます。

変更する場合

❸ ▲/▼ で変更したい番組を選び､中央を押す

- 番組表から予約した番組を選んだ場合、確認画面が表示されます。◀/▶ で「はい」を選び、中央を押してください。

❹ ▲/▼ で変更したい項目を選ぶ

❺ ◀/▶ で変更する

❻ ▲/▼ で「修正を反映する」を選び、中央を押す

◇ 予約一覧画面を消すには

[MENU] ボタンを押してください。

取り消し（消去）する場合

❸ ▲/▼ で取り消したい番組を選び､▶ を押す

❹ 「予約を取り消す」※ が選ばれているのでそのまま十字キーの中央を押す

※ 未実行履歴 の番組を消去する場合は「履歴を消去する」

❺ ◀/▶ で「はい」を選び、中央を押す

◇ 予約一覧画面を消すには

[MENU] ボタンを押してください。

予約一覧画面

Ⓐ 現在の日時

- 時計は､テレビ放送を受信すると自動的に設定されます。

Ⓑ 録画可能時間の目安

- 時間と分で表示します。
- 録画可能時間について､詳しくは 58 ページをお読みください。

Ⓒ 予約録画が重複している番組

Ⓓ 番組表から予約した番組（P17）

この番組は番組追従機能（P18）に対応しています。この番組の予約の日時やチャンネルを変更すると、番組追従に対応できなくなります。

Ⓔ 毎週予約の設定がされている番組

Ⓕ 正しく録画されなかった番組

- 未実行履歴 の番組は最大 4 件まで表示されます。4 件を超えると、古いものから自動的に消去されます。

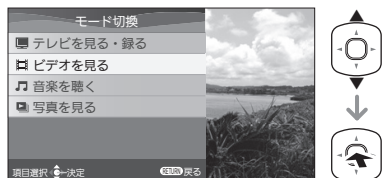
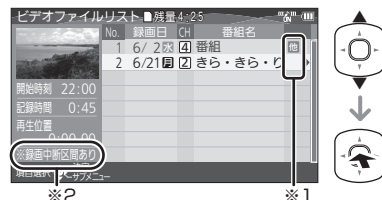
1. 録画した番組を見る

本機で再生できるビデオファイルについては 24 ページをお読みください。

● SD カードを本機に入れておく（P9）

❶ ［MODE］ボタンを押す

MODE

❷ ▲/▼ で「ビデオを見る」を選び、中央を押す

❸ ▲/▼ で見たい録画番組を選び、中央を押す

録画した番組を再生します。番組情報はしばらくすると消えます。再度表示したいときは十字キーの ▲ を押してください。押すたびに表示 / 非表示を切り換えます。

※ 1 録画した機器によってはアイコンが表示されます。
- 本機で録画した場合はアイコン表示しません。
- 当社製レコーダー、テレビ（P24）で録画したファイルは「他」と表示されます。

※ 2 録画中に電波状況が悪かった区間がある場合に表示されます。再生すると、録画されなかった区間はとび越して再生されます。途中に録画されなかった区間があった場合でも、記録時間の表示はこの区間を含めたものになります。

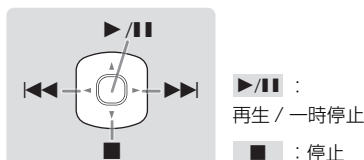
- 録画日が不明な場合、ビデオファイルリスト画面で「---------」が表示されます。

■ 音量を調整する

[VOL] ボタンの [−][＋] を押す

■ 再生中の十字キー操作

▶/❚❚ ：再生 / 一時停止

■ ：停止

⏮ / ⏭ ：スキップ･サーチ（早戻し/早送り）

スキップ → ポンと押す

サーチ → 再生中に押したままにする

☞ スキップする間隔を設定するには：P26

オートパワーオフ

節電のため、停止状態が約 5 分以上続くと自動的に電源が切れます。

レジューム機能

前回停止したところから再生します。停止位置の情報はSDカードに記録されるため、SDカードの書き込み禁止スイッチが [LOCK] 側になっている場合（P9）、停止位置が記録されず、レジュームされません。

◇ 番組の先頭から再生させるときは

1 手順❸のビデオファイルリスト画面で、十字キーの ▶ を押す

2 ▲/▼ で「先頭から再生する」を選び、中央を押す

お知らせ

- 一時停止した状態でスキップやサーチをした場合、指を離すと自動的に再生が始まります。

2. 本機で再生できるビデオファイル

当社製機器（レコーダーやテレビなど）で録画したビデオファイルを本機で再生することができます。他社製品の機器などで録画した番組を本機で再生することは保証していません。

（2010 年 3 月現在）

商品名	対応機器の品番
ブルーレイディスクレコーダー	DMR-BW970、DMR-BW880※、DMR-BW870、DMR-BW780※、DMR-BW770、DMR-BW680※、DMR-BR670V、DMR-BR580、DMR-BW570、DMR-BR570
DVD レコーダー	DMR-XP200
テレビ	TH-P50R1、TH-P46R1、TH-P42R1、TH-L37R1、TH-L32R1、TH-L20R1、TH-L17R1
上記以外の対応機器については下記サポートサイトでご確認ください。 http://panasonic.jp/support/audio/	

- 上記レコーダー / テレビで録画したファイルを本機で再生することはできますが、本機で録画したビデオファイルを上記レコーダー / テレビで再生することはできません。

本機は「高画質（VGA）」の再生に対応していません。

※のレコーダーで録画した番組を本機で再生する場合は、レコーダーの持ち出し番組の画質を「ワンセグ画質（QVGA）」に設定してください。

- 「高画質（VGA）」で持ち出した番組は本機のビデオファイルリストに表示されません。
- 「高画質（VGA）」で持ち出した番組が SD カードに残っていると、最大 99 番組（本機の録画可能番組数）までの録画ができません。
  この場合はレコーダーで「高画質（VGA）」で録画した番組を消去してください。

■ 上記レコーダー / テレビで録画した場合

チャプターマークに対応

レコーダー / テレビで作成されたチャプターマークは本機にも引き継がれるため、スキップ操作で見たい場面を探すことができます。
この場合、「スキップ間隔設定」を「オフ」に設定してください。(P26)
「オフ」以外に設定すると、チャプターマーク単位でスキップしません。

チャプターマーク

レジューム機能（続き再生メモリー機能）

レコーダー / テレビで録画した番組をレコーダー / テレビの HDD から SD カードにダビングし本機で再生すると、レコーダー / テレビで見ていた続きから再生されます。

お知らせ

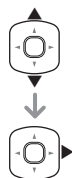
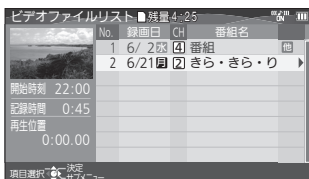
- レコーダー / テレビで編集などを行った場合は、チャプターマークが引き継がれなかったり、レジューム機能が働かない場合があります。
- チャプターマークやレジューム位置は多少ずれる場合があります。
- レコーダー / テレビでの録画、番組の持ち出しかたやチャプターマークの作成については、レコーダーやテレビの取扱説明書をお読みください。
- 付属のUSB接続ケーブルを使ってUSB端子付きのレコーダーと接続してダビングする場合の接続方法は、パソコンと接続する操作と同様です。34 ページの「パソコン」を「レコーダー」に読み換えて接続してください。

3. 録画した番組を保護（プロテクト）/ 消去する

誤って消去しないように、録画した番組を保護（プロテクト）したり、消去します。

- SD カードを本機に入れておく（P9）
- 「ビデオを見る」モードにしておく（P23）
- 再生している場合は停止しておく

保護する

❶ ▲/▼ で保護したい録画番組を選び、▶ を押す

❷ ▲/▼ で「プロテクト」を選び、中央を押す

プロテクトした番組は、ビデオファイルリスト画面で「🔒」が表示されます。

■ 解除する場合

1 ▲/▼ で「🔒」表示のある番組を選び、▶ を押す

2 ▲/▼ で「プロテクト解除」を選び、中央を押す

お知らせ

- 保護していても、SD カードをフォーマットした場合は消去されます。
- 電池残量表示が赤色になっているときは、プロテクト / プロテクト解除することはできません。

消去する

❶ ▲/▼ で消去したい録画番組を選び、▶ を押す

❷ ▲/▼ で「ビデオファイル消去」または「全ビデオファイル消去」を選び、中央を押す

❸ ◀/▶ で「はい」を選び、中央を押す

◇ 消去後の録画可能時間について

放送局から送信されるビットレート（単位時間あたりの情報量）は、放送局や番組によって異なります。本機では、ビットレートの大きい番組（412 kbps）を想定して録画可能時間の目安を表示しています。そのため、情報量の少ない番組を消去した場合は、消去した番組の録画時間に対して、増加する録画可能時間が少なくなります。

お知らせ

- 「プロテクト」設定されたビデオファイルは消去できません。
- 「全ビデオファイル消去」を選んだ場合、消去中に [RETURN] ボタンを押すと、ボタンを押した以降の番組の消去を中止します。（中止するまでに消去された番組は元に戻すことはできません）
- 電池残量表示が赤色になっているときは、消去できません。
- 本機でビデオファイルを消去してください。他の機器などで消去や SD カードのフォーマットを行うと、99 番組まで録画できなくなる場合があります。

4. ビデオの再生設定（字幕、二重音声など）

● 「ビデオを見る」モードにしておく（P23）

❶ ［MENU］ボタンを押す

❷ ▲/▼ で「ビデオの再生設定」を選び、中央を押す

❸ ▲/▼/◀/▶ を押して設定する

設定項目を選ぶ：▲/▼ を押す
設定内容を選ぶ：◀/▶ を押す

◇ メニュー画面を消すには
[MENU] ボタンを押してください。

●お買い上げ時の設定

字幕

字幕放送に対応した番組を再生している場合に、字幕を表示して視聴することができます。

●非表示　**○言語 1**　**○言語 2**

※「言語 1」や「言語 2」に設定しても、対応する字幕情報がない番組の場合、字幕は表示されません。

二重音声

二重音声に対応した番組を再生している場合に、二重音声を切り換えて視聴することができます。

●主　**○副**　**○主+副**

※ 二重音声に対応していない番組の場合、主音声での視聴になります。

プログレスバー表示

●非表示
再生の経過時間を示すプログレスバーはしばらくすると消灯します。

○表示
プログレスバーを常に表示します。

画面オフ設定

再生中に画面を消して、音声だけを楽しむことができます。

●常時画面オン

○ホールド時画面オフ
ホールド状態にすると画面が消え、動作表示ランプ（P6）が点滅します。
画面を表示するには、ホールドを解除してください。（P7）

スキップ間隔設定

再生中に十字キーの ◀/▶ を押して、とび越す間隔を設定できます。

●オフ

○30 秒　**○10 分**　**○30 分**

※ レコーダーやテレビで録画したファイルの場合、チャプターマーク単位でスキップさせるときは「オフ」に設定してください。「オフ」以外に設定すると、チャプターマーク単位でスキップしません。

お知らせ

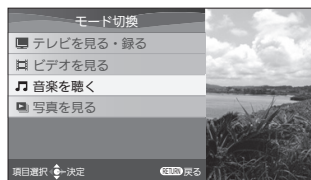
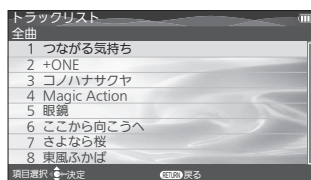
● 「字幕」「二重音声」「画面オフ設定」の設定は、「テレビを見る・録る」モードの「テレビの設定」の設定と共通です。

1. 音楽を聴く

● 音楽データを記録した SD カードを本機に入れておく（P9）

❶ [MODE] ボタンを押す

MODE

❷ ▲/▼ で「音楽を聴く」を選び、中央を押す

❸ ▲/▼ で再生する曲を選び、中央を押す

音楽を再生します。

動作表示ランプが約 3 秒間隔で点滅します。

● しばらくすると液晶モニターが省電力のため消灯します。表示を確認するには電源ボタン以外のいずれかのボタンを押してください。

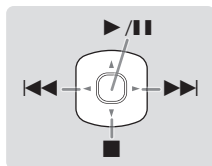
☞ 液晶モニターを点灯したままにするには（省電力設定）: P29

■ 音量を調整する

[VOL] ボタンの [−][＋] を押す

■ 再生中の十字キー操作

▶/❚❚ ：再生 / 一時停止

■ ：停止

⏮ / ⏭ ：スキップ･サーチ(早戻し / 早送り)

スキップ → ポンと押す

● 曲の途中で ◀ を押すと、その曲の先頭に戻ります。前の曲に戻る場合はもう一度 ◀ を押してください。

サーチ → 再生中に押したままにする

● 一時停止中に押したままにすると、連続してスキップします。

オートパワーオフ

節電のため、停止状態が約 5 分以上続くと自動的に電源が切れます。

レジューム機能

前回停止したところから再生します。

● SD カードの交換や、曲を追加 / 消去して SD カード内の情報が変更されると解除されます。

お知らせ

● 音楽再生画面で [RETURN] ボタンを押してトラックリスト（手順 ❸ の画面）を表示することもできます。

● 本機で音楽の消去はできません。SD-Jukebox やステレオシステムなどで消去してください。

プレイリストから曲を探して聴く

SD-Jukebox や当社製ステレオシステムで音楽を記録すると、プレイリストというアーティスト名やアルバム名ごとに分類される音楽リストを作ることができます。
これらのプレイリストから聴きたい曲を選んで聴くことができます。

- 本書では、「アーティスト」から曲を探す操作を説明しています。「アーティスト」以外のプレイリストから選曲する場合も同様に操作してください。

50 音検索
プレイリストを 50 音から検索して選べます。

全曲（お買い上げ時の設定）
すべての曲から選べます。

新曲（プレイリストがある場合のみ表示）
SD-Jukebox や当社製ステレオシステムで新曲転送された曲を選べます。

マイベスト（プレイリストがある場合のみ表示）
当社製マイベスト機能搭載オーディオ機器でマイベストに分類された曲を選べます。

アーティスト
SD-Jukebox や当社製ステレオシステムなどでアーティストに分類されたプレイリストから選べます。

アルバム
SD-Jukebox や当社製ステレオシステムなどでアルバムに分類されたプレイリストから選べます。

ユーザープレイリスト
SD-Jukebox や当社製ステレオシステムなどでお客様が作成されたプレイリストから選べます。

印象
SD-Jukebox や当社製ステレオシステムなどで印象に分類されたプレイリストから選べます。
：ウキウキ系　：癒し系　：ゆったり系
：その他の印象プレイリスト

- 「音楽を聴く」モードにしておく（P27）

❶ [MENU] ボタンを押す

❷ ▲/▼ で「曲を選ぶ」を選び、中央を押す

❸ ▲/▼ で「アーティスト」を選び、中央を押す

❹ ▲/▼ でプレイリストを選び、中央を押す

❺ ▲/▼ で再生する曲を選び、中央を押す

■「50 音検索」から選曲する

1 **（手順 ❸ で「50 音検索」を選んだあと）▲/▼/◀/▶ でプレイリストを選び、中央を押す**
　行を選ぶ　　　　　：◀/▶ を押す
　プレイリストを選ぶ：▲/▼ を押す

2 **▲/▼ で再生したい曲を選び、中央を押す**

お知らせ
- 50 音検索機能は、プレイリストに基づいた検索機能です。曲のタイトルからの検索はできません。
- プレイリストが作成されていない行はとび越します。

お知らせ
- プレイリストに分類されていない曲は、アーティストやアルバムなどのプレイリストから曲を探すことができません。「全曲」から曲を選んでください。
- プレイリストの作成方法は、SD-Jukebox の通常モード編の取扱説明書（PDF ファイル）やステレオシステムなどの取扱説明書をお読みください。

2. リピートなどの再生設定をする

● 「音楽を聴く」モードにしておく（P27）

1 ［MENU］ボタンを押す

2 ▲/▼ で「音楽の再生設定」を選び、中央を押す

3 ▲/▼/◀/▶ を押して設定する

設定項目を選ぶ：▲/▼ を押す
設定内容を選ぶ：◀/▶ を押す

● 「再生中の写真表示設定」「写真を選ぶ」については 30 ページをお読みください。

◇ **メニュー画面を消すには**

[MENU] ボタンを押してください。

●お買い上げ時の設定

再生モード

● **ノーマル**
選択したプレイリスト内の曲を再生

○ **1 曲リピート**
1 曲を繰り返し再生

○ **全曲リピート**
選択したプレイリスト内のすべての曲を繰り返し再生

○ **ランダム**
選択したプレイリスト内のすべての曲を順不同に再生

○ **ランダムリピート**
選択したプレイリスト内のすべての曲を順不同に繰り返し再生

○ **ザッピング**
選択したプレイリスト内のすべての曲のサビ部分約 20 秒間を順に繰り返し再生
– サビ情報が含まれていない場合は、曲の先頭部分が約 20 秒間再生されます。
– 十字キーの ◀/▶ を押したままにして、早戻し、早送りすることはできません。

○ **イントロ**
選択したプレイリスト内の各曲の先頭 10 秒間を順に繰り返し再生

プレイリスト連続再生

● **オフ**
選択したプレイリスト内の曲のみを再生

○ **オン**
アーティスト、アルバム、ユーザープレイリスト内のプレイリストをまたいで再生
– 「ランダム」「ランダムリピート」に設定していても、プレイリストは順不同に選択されません。

省電力設定

○ **オフ**
液晶モニターを点灯したままにします。

● **オン**
再生中に本機を約 10 秒以上操作しないでいると情報画面が消灯して、電池の消耗を抑えます。
– 電源ボタン以外のいずれかのボタンを押すと、液晶モニターが点灯します。
– イントロ再生時や、10 秒以下の曲を連続で再生している場合、「オン」に設定していても液晶モニターは消灯しません。

お知らせ

再生モードについて

● 「ザッピング」「イントロ」に設定時、モードを切り換えたり、電源を切ると再生モードは「ノーマル」になります。
● ザッピング再生中やイントロ再生中に十字キーの中央を押すと、再生中の曲の始めから通常再生します。
● ランダム再生中は、十字キーの ◀ を押して再生し終わった曲へ戻ることはできません。

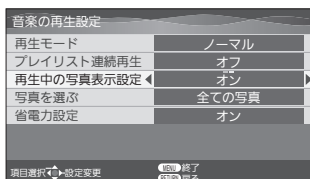
3. 音楽再生時に写真を表示する

音楽再生を始めると、パソコンのスクリーンセーバーのように、SD カード内の写真を約 6 秒間ずつ順番に表示することができます。

● 「音楽を聴く」モードにする（P27）

❶ [MENU] ボタンを押す

❷ ▲/▼ で「音楽の再生設定」を選び、中央を押す

❸ ▲/▼ で「再生中の写真表示設定」を選び、◀/▶ で「オン」を選ぶ

❹ ▲/▼ で「写真を選ぶ」を選び、◀/▶ で再生する写真の分類を選ぶ

全ての写真：
SD カード内のすべての写真を再生

LUMIX のお気に入り
(登録した写真がある場合のみ表示)：
当社製デジタルカメラ LUMIX でお気に入りに登録した写真を再生

お気に入り 1、お気に入り 2、お気に入り 3：
お気に入りに登録した写真を再生

- お気に入りへの登録方法については 39 ページをお読みください。
- お気に入りに写真を登録していない場合は、SD カード内のすべての写真を再生します。

音楽を再生してしばらくすると写真が順番に表示されます。

◇ メニュー画面を消すには
[MENU] ボタンを押してください。

お知らせ

- 音楽を停止 / 一時停止した場合は、写真表示が中断します。
- 写真を表示しているときに、十字キーを操作すると、音楽について動作します。写真をスキップさせたりすることはできません。
- スキップ操作をしたりメニュー操作をした後は、一度、音楽の情報画面に変わります。写真のファイルサイズによっては、写真が再表示されるまで時間がかかる場合があります。
- 再生可能な写真については 36 ページをお読みください。
- 写真の表示間隔を変更したり、回転表示の変更はできません。
- 省電力設定が「オン」に設定されている場合でも写真が表示されます。

4. 音楽を SD カードに記録するには

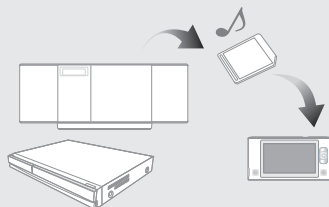
本機で音楽再生するには、音楽を以下のいずれかの方法で SD カードに記録してください。

付属の CD-ROM（SD-Jukebox）をパソコンにインストールし、SD-Jukebox を使って音楽を SD カードに書き込む※

☞ インストールする：P33

SD-Jukebox の取扱説明書（PDF ファイル）を見るには 取扱説明書 をクリックしてください。

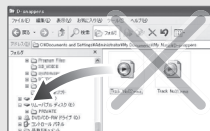
当社製ステレオシステムなど、SDオーディオ規格準拠の機器で、音楽を SD カードに記録する

- 詳しくは、それぞれの機器の取扱説明書をお読みください。

※ SD カードへの書き込みについては SD-Jukebox の取扱説明書をお読みください。SD-Jukebox の取扱説明書は、SD-Jukebox と同時に PDF ファイルとしてインストールされます。
- 取扱説明書（PDF ファイル）をお読みいただくには、Adobe Reader が必要です。

当社製 SD オーディオ規格準拠の機器 （2010 年 3 月現在）

商品名	対応機器の品番
コンパクトステレオシステム	SC-HC40、SC-HC7、SC-HC4
SD ステレオシステム	SC-PM870SD
ブルーレイディスクレコーダー	DMR-BW970、DMR-BW880、DMR-BW870、DMR-BW780、DMR-BW770、DMR-BW680
上記以外の対応機器については下記サポートサイトでご確認ください。 http://panasonic.jp/support/audio/	

以下の音楽データを SD カードに記録しても本機では再生できません。

- WMA/MP3/AAC 形式ファイルをパソコンのエクスプローラで直接転送した音楽データ
- 他社製のSDオーディオ規格に準拠していないミニコンポなどで記録した音楽データ
- 携帯電話の音楽配信サイトよりダウンロードした、SD オーディオ規格に準拠していない音楽データ

5. 音楽記録の準備をする（付属 CD-ROM のインストール）

付属 CD-ROM（SD-Jukebox）の動作環境を確認する

対応パソコン
下記対応の OS（日本語版）がプリインストールされた IBM PC/AT またはその互換機

対応 OS（日本語版）
Microsoft® Windows® XP Home Edition/Professional および Service Pack 1、2、3
Microsoft® Windows Vista® Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate および Service Pack 1、2
Microsoft® Windows® 7 Starter/Home Premium/Professional/Ultimate

	Windows XP	Windows Vista	Windows 7
CPU	Intel® Pentium® III 500 MHz 以上	Intel® Pentium® III 800 MHz 以上	Intel® Pentium® III 1 GHz 以上
メモリ	256 MB 以上	512 MB 以上	1 GB 以上
ディスプレイ	High Color（16 bit）以上 画面の解像度 800 × 600 ピクセル以上 (1024 × 768 ピクセル以上を推奨)		
ハードディスク	100 MB 以上の空き容量 ● Windows® のバージョンや音楽データにより、別途空き容量が必要です。		
必要なソフトウェア	DirectX® 9.0b 以降、Internet Explorer 6 以降		
サウンド	Windows 互換サウンドデバイス		
ドライブ	CD-ROM ドライブ（デジタル録音対応　4 倍速以上） ● IEEE1394 で接続する CD-ROM ドライブでは動作しません。 ● 音楽 CD の作成には CD-R/RW ドライブが必要です。		
インターフェース	USB 端子 ● USB ハブおよび USB 延長ケーブルで接続した場合の動作は保証していません。		
その他	インターネット接続環境（CDDB 機能を利用する場合に必要） （ブロードバンド環境を推奨）		

お知らせ

- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- NEC PC-98 シリーズとその互換機での動作は保証していません。
- Windows® 3.1、Windows® 95、Windows® 98、Windows® 98SE、Windows® Me、Windows NT®、Windows® 2000 および Macintosh には対応していません。
- OS のアップグレード環境での動作は保証していません。
- マルチブート環境には対応していません。
- システム管理者権限 (Administrator) のユーザーのみで使用可能です。
- お客様が自作されたパソコンでの動作は保証していません。
- Windows® XP および Windows Vista® の 64 bit OS の動作は保証していません。
- ディスクレーベル面に“COMPACT disc DIGITAL AUDIO”のマークが入っていない音楽 CD の再生 / 録音には対応していません。
- 他のソフトウェアが同時に起動している場合の動作は保証していません。
- パソコンの環境によっては録音ができなかったり、録音した音楽データが使えない等の不具合が発生する場合があります。お客様の音楽データの損失ならびにその他の直接 / 間接的な障害につきましては、当社および販売店等に故意または重過失がない限り、当社および販売店等はその責任を負いません。
- 付属ソフトウェアの動作環境の詳細については、カタログまたは "http://panasonic.jp/support/software/sdjb/connect/index.html" をご参照ください。

付属 CD-ROM（SD-Jukebox）をインストールする

付属の SD-Jukebox Ver.7.0 をインストールしてください。
- SDXC メモリーカードを使用する場合は、付属の SD-Jukebox Ver.7.0 のインストールが必要です。

◇ すでに SD-Jukebox をインストールされている方は

付属 CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れて、「SD-Jukebox Ver.7.0 LE のインストール」をクリックすると、ファイル削除の確認画面が表示されます。「OK」を選ぶとアンインストールが始まります。アンインストール完了後、手順 ❸ から操作してインストールしてください。
- インストールし直しても、インストール前に SD-Jukebox に取り込んだ音楽データは消去されません。

- 他に起動しているアプリケーションをすべて終了しておく
- インストールが終了するまで本機をパソコンに接続しない

❶ パソコンの電源を入れ、Windows を起動する

❷ 付属 CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに入れる

❸ 「SD-Jukebox Ver.7.0 LEのインストール」をクリックする

❹ 画面の指示に従ってインストールを続ける

シリアル番号入力画面では
CD-ROM パッケージの表面に記載されているシリアル番号を半角で入力してください。

- 再インストール時にもシリアル番号が必要です。CD-ROM パッケージは大切に保管してください。

パソコンを再起動すると、インストールは完了です。

■ SD-Jukebox を起動する

❶ デスクトップのアイコンをダブルクリックする

❷ 表示モードを選び、クリックする

通常モード：
SD-Jukeboxのすべての機能をお使いいただけます。

カンタンモード：
SD-Jukebox の主な機能のみを、ステレオシステムのような操作でお使いいただけます。

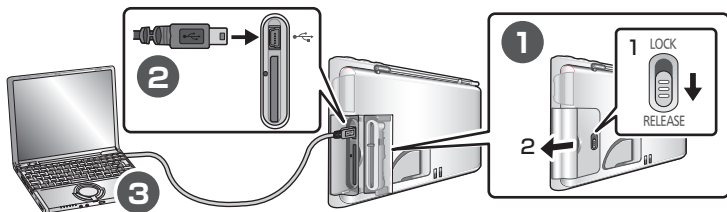
デスクトップアイコンが表示されていない場合は
Windows のスタートメニュー→
「すべてのプログラム」→「Panasonic」→
「SD-JukeboxV7」→「SD-JukeboxV7」
の順にクリックする

インストーラーが自動的に起動しない場合

1 Windows のスタートメニューで「ファイル名を指定して実行」をクリックする
2 「＊:¥autorun.exe」と入力し、「OK」をクリックする
- ＊は CD-ROM ドライブの ID です。
- 以下、画面の指示に従って続けてください。

6. パソコンと接続する

- USB 接続ケーブルは付属のものをお使いください。また、付属のケーブルは他の機器に使わないでください。
- SDXCメモリーカードにパソコンが対応していない場合、フォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。（カードに記録した内容が消去されますので、フォーマットしないでください）カードを認識しない場合は、下記のサポートサイトをご覧ください。
  http://panasonic.jp/support/sd_w/

- SD カードを本機に入れておく（P9）
- パソコンを起動させておく

❶ カードふたを開ける

1 [LOCK/RELEASE] つまみを [RELEASE] 側へ動かす

2 カードふたを引き出し、開ける

❷ USB 接続ケーブルを奥まで差し込む

❸ USB 接続ケーブルをパソコンに差し込む

本機の画面に「USB」と表示され、SD-Jukeboxから音楽データの書き込みや写真の取り込みができるようになります。

■ USB 接続ケーブルを取り外す

パソコンのタスクトレイにあるアイコン（「 」や「 」）をダブルクリックし、画面の指示に従って取り外してください。（OS の設定によっては表示されません）

- USB 接続ケーブルを取り外すと、本機の電源は自動的に切れます。

取り外したあとは、カードふたを閉じる

❶ カードふたを閉じ、まっすぐ押し込む

❷ [LOCK/RELEASE] つまみを赤色部分が見えなくなるまで [LOCK] 側へ動かす

データ保存機能

本機は USB リーダーライターとして機能し、パソコンの外部デバイスとして認識されます。

- SD カード内の「PRIVATE」フォルダ、「SD_AUDIO」フォルダ、「SD_VIDEO」フォルダは移動や消去、名前の変更をしないでください。

お知らせ

- 「アクセス中」表示中にSDカードやUSB接続ケーブルを抜き差しすると、SD カード内のデータが消えたり、壊れることがあります。
- パソコンと接続すると充電されますが、満充電になるまで約 8 時間かかります。また、充電中の表示はされません。
- パソコンと接続中は本機を操作することはできません。
- パソコンと接続中にパソコンを起動（再起動）したり省電力モードになると、本機を認識しないことがあります。この場合、本機を取り外して再接続してください。
- パソコンを起動（再起動）するときは、本機から USB 接続ケーブルを抜いておくことをおすすめします。
- 1台のパソコンに2台以上のUSB機器を接続している場合や、USB ハブ、延長ケーブルを使用する場合は、動作を保証しません。

1. 写真を順番に再生する（スライドショー）

● 写真を記録した SD カードを本機に入れておく（P9）

❶ [MODE] ボタンを押す

MODE

❷ ▲/▼ で「写真を見る」を選び、中央を押す

順番に写真の再生が始まり、繰り返し再生します。（スライドショー）
情報表示はしばらくすると消えます。再度表示したいときは十字キーの ▲ を押してください。押すたびに表示 / 非表示を切り換えます。

■ 停止する（シングル表示）

十字キーの ▼ または中央を押す

または

スライドショーを停止し、シングル表示（1 画面表示）になります。

● 再度、十字キーの中央を押すと再生します。

■ スキップ（戻る・送る）する

再生中に、十字キーの ◀/▶ を押す

シングル表示画面から写真を探す

● シングル表示にしておく

◇ 1 枚ずつ写真を探す

十字キーの ◀/▶ を押す

◇ スクロール※させて写真を探す

十字キーの ◀/▶ を押したままにする

● 指を離すと、中央に表示されている写真がシングル表示されます。

※「スクロール」とは、一度に表示できない場合などに、順番に流れるように表示する機能です。

写真一覧画面から写真を探す

● シングル表示にしたあと、十字キーの ▼ を押して一覧画面にする

◇ 複数の写真から選ぶ

十字キーの ▲/▼/◀/▶ を押して写真を選び、中央を押す

◇ 一覧画面ごとスクロールさせて探す
（16 枚以上写真がある場合）

十字キーの ◀/▶ を押したままにする

● 指を離すと、スクロールが停止します。

音楽を聴く

写真を見る

オートパワーオフ

節電のため、写真を再生中やシングル表示以外の画面が約 5 分以上続くと自動的に電源が切れます。

レジューム機能

前回選んでいた写真から再生します。

- SD カードを交換すると解除されます。

お知らせ

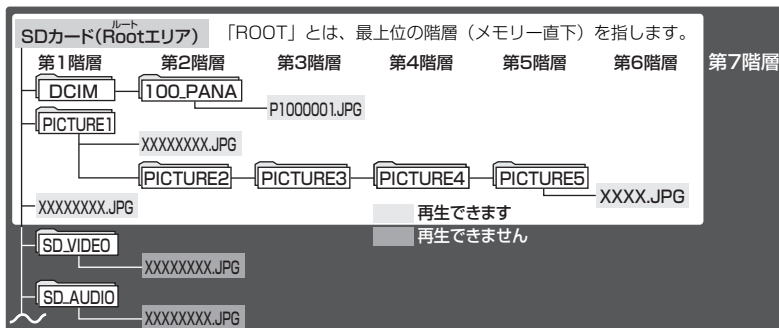
- 再生中やシングル表示中にスキップ操作をしたとき、写真のファイルサイズが大きい場合は、写真が切り換わるのに少し時間がかかる場合があります。
- スライドショーでは、37 ページで選んだ分類のすべての写真を繰り返し再生します。
- 一覧画面などではサムネイル画像※を表示します。サムネイル画像がないなど、ファイルによって一覧画面などでサムネイル画像が表示できない場合があると「📷」を表示します。また、写真や SD カードによっては、スクロールしているときのサムネイル画像が「📷」で表示される場合があります。
  ※「サムネイル」とは、複数の画像を一覧表示するために縮小した画像のことです。
- シングル表示中に [RETURN] ボタンを押して写真一覧画面を表示することもできます。
- 再生中に [RETURN] ボタンを押すと停止してシングル表示になります。
- 本機で写真の消去はできません。記録した機器などで消去してください。

本機で再生できる写真

ファイル形式　　　：JPEG（JPEG 形式でも再生できないものがあります）
画素数　　　　　　：最大 5120 × 3840　最小 64 × 64
最大ファイルサイズ：10 MB
最大フォルダ数　　：1000 フォルダ
最大ファイル数　　：40000 ファイル

再生対象になる写真のフォルダ構造

SD カードの 6 階層目までにあるファイルを再生できます。

- 「SD_VIDEO」「SD_AUDIO」フォルダ内のファイルは再生できません。

- 「DCIM」「SD_VIDEO」「SD_AUDIO」フォルダは、記録した機器以外で移動や削除、名前の変更をしないでください。記録した機器で正しく認識できなくなる場合があります。

2. 分類された写真を見る（日付検索、フォルダ検索など）

写真は以下の分類別に探すことができます。

全ての写真（お買い上げ時の設定）
すべての写真を順番に再生します。

日付検索
日付別に写真を再生します。

フォルダ検索（P38）
SD カード内のフォルダを指定して、そのフォルダ内の写真を再生します。

LUMIX のお気に入り
（登録した写真がある場合のみ表示）
当社製デジタルカメラLUMIXでお気に入りに登録した写真を再生します。
- 登録のしかたは LUMIX の取扱説明書をお読みください。

お気に入り 1、お気に入り 2、お気に入り 3
（登録した写真がある場合のみ表示）
本機でお気に入りに登録した写真から選べます。
- お気に入りの登録のしかたは 39 ページをお読みください。

SDカード内のすべての写真を見る

- 写真を記録した SD カードを本機に入れておく（P9）
- 「写真を見る」モードにしておく（P35）

1 ［MENU］ボタンを押す

2 ▲/▼ で「写真を選ぶ」を選び、中央を押す

3 ▲/▼ で「全ての写真」を選び、中央を押す

4 ▲/▼/◀/▶ を押して写真を選び、中央を押す

選んだ写真をシングル表示します。十字キーの中央を押すと順番に再生します。

日付別に写真を見る

- 写真を記録した SD カードを本機に入れておく（P9）
- 「写真を見る」モードにしておく（P35）

1 ［MENU］ボタンを押す

2 ▲/▼ で「写真を選ぶ」を選び、中央を押す

3 ▲/▼ で「日付検索」を選び、中央を押す

4 ▲/▼/◀/▶ を押して日付を選び、中央を押す

月を選ぶ：▲/▼ を押す
日を選ぶ：◀/▶ を押す
- 写真が 1 枚もない月は表示されません。

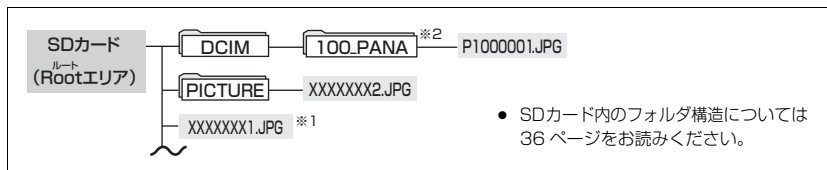
5 ▲/▼/◀/▶ を押して写真を選び、中央を押す

選んだ写真をシングル表示します。十字キーの中央を押すと順番に再生します。

お知らせ

日付検索について
- 日付表示できる範囲は 2000 年 1 月から 2099 年 12 月までです。
- 写真ファイルの日付データには、撮影日と更新日があり、日付検索では更新日を利用しています。パソコン編集などで更新日が変更された場合、日付検索で表示される日付と、再生画面等で表示される撮影日が異なります。

SD カード内のフォルダを選んで写真を見る

本書では、以下のフォルダ構造の場合に写真を選ぶ操作で説明しています。

● SDカード内のフォルダ構造については36 ページをお読みください。

● 写真を記録した SD カードを本機に入れておく（P9）
●「写真を見る」モードにしておく（P35）

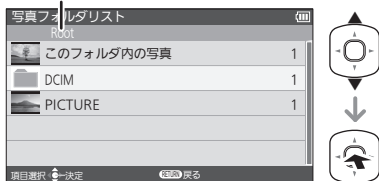
❶ ［MENU］ボタンを押す

❷ ▲/▼ で「写真を選ぶ」を選び、中央を押す

❸ ▲/▼ で「フォルダ検索」を選び、中央を押す

Root エリア直下のフォルダが表示されます。

❹ ▲/▼ を押してフォルダを選び、中央を押す

現在開いているフォルダ

● 現在開いているフォルダ内に写真とフォルダがある場合、「このフォルダ内の写真」が表示されます。

※1　本例の場合、フォルダ構造説明の「XXXXXXX1.JPG」ファイルを選ぶ場合

●「 」で表示されるフォルダは、さらに下の階層にフォルダが存在します。

※2　本例の場合、フォルダ構造説明の「DCIM」フォルダ内にさらに「100_PANA」フォルダが存在

探しているフォルダが見つかるまで手順❹を繰り返してください。

❺ ▲/▼/◀/▶ を押して写真を選び、中央を押す

選んだ写真をシングル表示します。十字キーの中央を押すと順番に再生します。

3. お気に入りの写真を集める

写真をお気に入り登録しておくと、登録した写真だけを順番に再生したり、写真を探しやすくすることができます。「お気に入り 1」「お気に入り 2」「お気に入り 3」の 3 つに分けて登録できます。
- 本書では、「お気に入り 1」に写真を登録して、写真を見る操作を説明しています。

- **写真を記録した SD カードを本機に入れておく（P9）**
- **どの分類の写真を登録するか、選択対象となる分類を選んでおく（P37）**
- **写真一覧画面にしておく（P35）**

❶ **[MENU] ボタンを押す**

❷ **▲/▼ で「お気に入りを編集する」を選び、中央を押す**

❸ **▲/▼ で「お気に入り 1 を編集する」を選び、中央を押す**

❹ **◇登録する写真を選ぶ**
▲/▼/◀/▶ を押して写真を選び、中央を押す

選択した写真には「☆1」が表示されます。
- もう一度、十字キーの中央を押すと表示が消え、選択が解除されます。
- [MENU] ボタンを押して設定メニューから「全選択」「全解除」を選ぶことができます。全部の写真を一度に選択や解除ができます。
  また、「シングル表示」を選ぶと、シングル表示画面から選択することができます。

❺ **◇編集を終了する**
[MENU] ボタンを押して
▲/▼ で「お気に入り編集終了」を選び、中央を押す

■ 登録した写真を探して見る

1 **[MENU] ボタンを押す**
2 **▲/▼ で「写真を選ぶ」を選び、中央を押す**
3 **▲/▼ で「お気に入り 1」を選び、中央を押す**
4 **▲/▼/◀/▶ を押して写真を選び、中央を押す**
選んだ写真をシングル表示します。十字キーの中央を押すと順番に再生します。

■ 登録をまとめて解除する

1 **[MENU] ボタンを押す**
2 **▲/▼ で「お気に入りを編集する」を選び、中央を押す**
3 **▲/▼ で「お気に入り 1 を全解除する」を選び、中央を押す**
4 **◀/▶ で「はい」を選び、中央を押す**

お知らせ
- 再生中は登録 / 解除することはできません。
- 手順 ❸ で「お気に入り 2 を編集する」を選んだ場合は「☆2」、「お気に入り 3 を編集する」を選んだ場合は「☆3」が表示されます。
- 「☆」のついている写真は、当社製デジタルカメラ LUMIX でお気に入り登録した写真です。本機では登録の解除はできません。
- 登録したお気に入りを編集（登録の追加 / 解除）する場合も手順 ❶ ～ ❺ の操作を行ってください。
- それぞれの「お気に入り」に 999 枚まで写真を登録できます。
- 写真によっては登録できない場合があります。
- 電池残量表示が赤色になっているときは編集できません。

4. 写真の再生設定（順序、BGM（音楽）など）

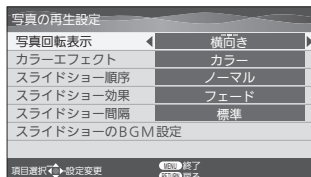
●お買い上げ時の設定

● 「写真を見る」モードにしておく（P35）

❶ [MENU] ボタンを押す

❷ ▲/▼ で「写真の再生設定」を選び、中央を押す

❸ ▲/▼/◀/▶ を押して設定する

設定項目を選ぶ：▲/▼ を押す
設定内容を選ぶ：◀/▶ を押す

◇ メニュー画面を消すには

[MENU] ボタンを押してください。

写真回転表示

写真を順番に再生する場合やシングル表示する場合に、本機を置く向きにあわせて写真を回転させます。

○ **オフ**
自動的に回転されません。

● **横向き**
本機を横向きにして見る場合に設定してください。

○ **縦向き**
本機を縦向きにして見る場合に設定してください。

※ 撮影した機器によっては、回転できない場合があります。

カラーエフェクト

写真を順番に再生しているときやシングル表示している場合に、写真の色を変更できます。

● **カラー**

○ **白黒**

○ **セピア**

スライドショー順序

● **ノーマル**
写真のフォルダ名/ファイル名に付与された文字コード順に再生

○ **ランダム**
順不同にフォルダが選択され、フォルダ内の写真を順不同に再生

– ランダム再生中は、十字キーの ◀ を押して再生し終わった写真へ戻ることはできません。

スライドショー効果

● フェード
次の写真を徐々に表示して写真を切り換えながら再生します。

○ モーション
写真を拡大し、上下、左右対角方向に動かしながら再生します。

○ スライドイン
画面右側から左側へ流れるように写真を切り換えながら再生します。

スライドショー間隔

○ 短い
約 1 秒間隔で写真を切り換えます。

● 標準
約 6 秒間隔で写真を切り換えます。

○ 長い
約 10 秒間隔で写真を切り換えます。

※ 写真のファイルサイズが大きい場合は、設定にかかわらず、切り換わるまで時間がかかる場合があります。
※「スライドショー効果」を「モーション」に設定しているときは「スライドショー間隔」の設定は反映されません。

スライドショーの BGM 設定

「オン」に設定すると、写真を順番に表示するときに、音楽を再生することができます。
（事前に SD カードに音楽を記録しておいてください（P31））

❹「スライドショーのBGM設定」を選び、中央を押す

❺ ▲/▼ で「BGM」を選び、◀/▶で「オン」を選ぶ

❻ ▲/▼ で「曲を選ぶ」を選び、中央を押す

❼ ▲/▼ でプレイリストの種類を選び、中央を押す

- 「全曲」、「新曲」、「マイベスト」を選んだ場合は手順 ❾ へすすんでください。
- 「50 音検索」を選んだ場合は 28 ページをお読みください。

❽ ▲/▼でプレイリストを選び、中央を押す

❾ ▲/▼ で再生する曲を選び、中央を押す

選んだプレイリスト内のすべての曲を繰り返し再生します。

※「BGM」を「オン」に設定した場合、写真を停止すると、音楽も停止します。
※「BGM」を「オン」に設定した場合、十字キーを操作すると、写真について動作します。音楽をスキップさせたりすることはできません。
※プレイリストの種類について詳しくは 28 ページをお読みください。

1. 各種設定 画質や音質の設定をする

❶ [MENU] ボタンを押す

❷ ▲/▼ で「その他の機能へ」を選び、中央を押す

❸ ▲/▼ で「画質の設定」または「音質の設定」を選び、中央を押す

❹ ▲/▼/◀/▶ を押して設定する

設定項目を選ぶ：▲/▼ を押す
設定内容を選ぶ：◀/▶ を押す

◇ メニュー画面を消すには

[MENU] ボタンを押してください。

設定は以下のモードで共通になります。
- 「テレビを見る・録る」モードと「ビデオを見る」モードで共通
- 「音楽を聴く」モードと「写真を見る」モードで共通

（「画質の設定」の「明るさ」はすべてのモードで共通になります）

●お買い上げ時の設定

画質の設定	
「テレビを見る・録る」・「ビデオを見る」モードの場合	**「音楽を聴く」・「写真を見る」モードの場合**
画質モード	**画質モード**
○ **スタンダード** 標準の画質モード ○ **シネマ** 映画視聴に向いた画質モード ● **ダイナミック** 明暗がはっきりしたメリハリのある画質モード	○ **スタンダード** 標準の画質モード ○ **ソフト** 目にやさしい画質モード ● **ダイナミック** 明暗がはっきりしたメリハリのある画質モード
明るさ	**明るさ**
明るさを「－ 5」から「＋ 5」までの範囲で調整します。 ※ お買い上げ時は「± 0」に設定されています。	←「テレビを見る・録る」・「ビデオを見る」モードと共通の設定です。
コントラスト自動調整	**コントラスト自動調整**
視聴している画像の明暗に応じて液晶モニターの明るさを自動で調整します。 ○ **オフ** ● **オン**	設定できません。

音質の設定

「テレビを見る・録る」・「ビデオを見る」モードの場合	「音楽を聴く」・「写真を見る」モードの場合
サウンド	**サウンド**
● **スタンダード** 全音域をバランスよくした音質 ○ **ミュージック** メリハリ感を強調した音質 ○ **ニュース** 人の声を聴きやすくした音質 ○ **トレイン**※ 耳にやさしい音で、迷惑な音もれを防止 ※ ヘッドホン使用時のみ設定できます。	●**フラット** 全音域をバランスよくした音質 ○**ヘビー**※ 重低音を強調した音質 ○**クリア** 高音部を鮮明にする音質 ○**ボーカル** ボーカルを強調し、つやを出す音質 ○**トレイン**※ 耳にやさしい音で、迷惑な音もれを防止 ※ ヘッドホン使用時のみ設定できます。
反響音を抑える **(ヘッドホン使用時は設定できません)**	**反響音を抑える** **(ヘッドホン使用時は設定できません)**
反響音を感じやすい帯域を抑えることによって、室内の壁面などから跳ね返ってくる反響音の影響を軽減します。 ● **オフ** ○ **オン** ※ 視聴している音量や室内の環境によっては効果が感じられない場合があります。	反響音を感じやすい帯域を抑えることによって、室内の壁面などから跳ね返ってくる反響音の影響を軽減します。 ● **オフ** ○ **オン** ※ 視聴している音量や室内の環境によっては効果が感じられない場合があります。
小声を大きくする **(ヘッドホン使用時は設定できません)**	**小声を大きくする**
○ **オフ** 効果をオフします。 ○ **レベル 1** 小さな声を聴き取りやすくします。 ● **レベル 2** レベル 1 よりさらに小さな声を聴き取りやすくします。 ※ 音がひずむ場合は、「オフ」に設定してください。	設定できません。

2. 各種設定 タイマーを設定する

時間が経過するとアラーム音でお知らせする「アラーム」と、自動的に電源を切る「オフタイマー」を設定することができます。

1 [MENU] ボタンを押す

2 ▲/▼ で「その他の機能へ」を選び、中央を押す

3 ▲/▼ で「タイマー設定」を選び、中央を押す

4 ▲/▼ で「アラーム」または「オフタイマー」を選び、中央を押す

5 ◀/▶ を押して時間を設定する

「アラーム」を設定する場合

1 分～ 99 分まで、1 分単位で設定できます。

「オフタイマー」を設定する場合

以下の設定から選べます。

- 30 分
- 60 分
- 90 分

6 ▲/▼ で「スタート」を選び、中央を押す

「アラーム」を設定した場合

画面右下に「 🔔 」が表示され、秒読みを開始します。

設定した時間が経過すると・・・

アラーム音が 1 分間鳴ります。

- アラーム音量やアラーム音は変更することはできません。

◇ アラーム音を止めるには

いずれかのボタンを押してください。

「オフタイマー」を設定した場合

画面右下に「オフタイマー」が表示され、電源が切れるまでの時間（分）を表示します。

設定した時間が経過すると・・・

電源が切れます。

- 視聴中の番組を録画中は（P16）、設定した時間になると録画を停止して電源が切れます。

◇ タイマー設定を解除するには

1 [MENU] ボタンを押す

2 ▲/▼ で「その他の機能へ」を選び、中央を押す

3 ▲/▼ で「タイマー設定」を選び、中央を押す

4 ◀/▶ で「はい」を選び、中央を押す

お知らせ

- 電源を切ったり、パソコンと接続すると、タイマー設定はキャンセルされます。
- 設定したタイマーの時間を変更することはできません。一度取り消してから設定し直してください。
- アラームとオフタイマーを同時に設定することはできません。

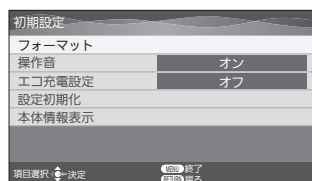
3. 各種設定 フォーマットやその他の設定をする

● 録画した番組を再生中や、音楽や写真を再生中に「フォーマット」、「設定初期化」をする場合は、停止しておく

❶ **［MENU］ボタンを押す**

❷ **▲/▼ で「その他の機能へ」を選び、中央を押す**

❸ **▲/▼ で「初期設定」を選び、中央を押す**

❹ **▲/▼ で設定項目を選ぶ**

●お買い上げ時の設定

フォーマット

フォーマットすると、SD カード内のすべてのデータが消去されます。

❺ **「フォーマット」を選び、中央を押す**

❻ **◀/▶ で「はい」を選び、中央を押す**

● 電池残量表示が赤色になっているときは、フォーマットすることはできません。

操作音

操作したときに音でお知らせします。

◀/▶ で設定内容を選ぶ

○オフ　●オン

◇ **メニュー画面を消すには**

[MENU] ボタンを押してください。

エコ充電設定

◀/▶ で設定内容を選ぶ

●**オフ**

通常充電（100% の充電）

○**オン**

通常充電時の 90% の充電

◇ **メニュー画面を消すには**

[MENU] ボタンを押してください。

設定初期化

本機のチャンネル設定などをお買い上げ時の状態に戻します。

● 録画予約は消去されます。

❺ **「設定初期化」を選び、中央を押す**

❻ **◀/▶ で「はい」を選び、中央を押す**

本体情報表示

本機のファームウェア（制御ソフト）のバージョンを確認することができます。

「本体情報表示」を選び、中央を押す

◇ **メニュー画面を消すには**

[MENU] ボタンを押してください。

1. 画面表示 / こんな表示が出たら

テレビを見る・録るモード

ビデオ再生モード

Ⓐ **選局 / 録画したチャンネルを表示**

Ⓑ **「ホーム」/「おでかけ」のどちらに登録したチャンネルを受信しているかを表示（P15）**
- ：「ホーム」　　：「おでかけ」
- 録画中は表示されません。

Ⓒ **電波の受信レベルの目安**　強 ～ 弱

Ⓓ **：「反響音を抑える」または「小声を大きくする」を設定時（P43）**

Ⓔ **：電池残量表示（P11）**
：AC アダプター使用時

Ⓕ **[MENU] ボタン、十字キー、[RETURN] ボタンの操作ガイド**
- ガイド表示に対応するキーを押すとガイド表示の動作をします。

Ⓖ **SD カードへの録画可能時間の目安**
- 時間と分で表示します。例えば「残量 1：30」の表示は約 1 時間 30 分の録画が可能です。
- 録画可能時間について、詳しくは58ページをお読みください。

Ⓗ **プログレスバー**　**常時表示させるには：P26**
- 再生経過時間をバーで表示します。
（ⓐ：再生経過時間　ⓑ：記録時間）
- 録画番組にチャプターマーク（P24）が作成されているときは、黄色の縦線を表示します。
- プログレスバーを表示中は、タイマー設定表示（「」「オフタイマー」）や予約番組があることを示す表示（「」）はしません。

音楽を聴くモード

「省電力設定」を「オン」に設定時は、しばらくすると表示が消えます。表示を確認するには電源ボタン以外のいずれかのボタンを押してください。

：1曲リピート
ALL：全曲リピート
：ランダム
：ランダムリピート
：ザッピング
INTRO：イントロ

Ⓐ **アルバム名**

Ⓑ **アーティスト名**

Ⓒ **曲名**

Ⓓ **圧縮 / 伸張方式、ビットレート**

Ⓔ **ジャケット写真**
- 作成方法（静止画の添付）については SD-Jukebox の通常モード編の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。
- プレイリストに登録された写真は本機で表示できません。
- 写真が本機に対応※していない場合は、固定の画像が表示されます。
- 1 曲に複数の写真を添付している場合、本機では最初の 1 枚のみが表示されます。

Ⓕ **現在の曲 / 総曲数**

Ⓖ **プログレスバー（再生経過時間）**
ⓐ：再生経過時間　　ⓑ：曲時間

Ⓗ **[MENU] ボタン、十字キーの操作ガイド**
- ガイド表示に対応するキーを押すと、ガイド表示の動作をします。

Ⓘ **：「反響音を抑える」を設定時（P43）**

Ⓙ **：電池残量表示（P11）**
：AC アダプター使用時

Ⓚ **再生モード（P29）**

※本機対応　ファイル形式　：JPEG
　　　　　　画素数　　　　：96 × 96、640 × 480、160 × 120 ～ 1800 × 1200

写真を見るモード

Ⓐ 再生している写真の分類（P37）

Ⓑ 写真の撮影日

Ⓒ 現在再生中の写真 / 選んだ分類の写真の総数

Ⓓ ：電池残量表示（P11）
：AC アダプター使用時

Ⓔ [MENU] ボタン、十字キーの操作ガイド
- ガイド表示に対応するキーを押すとガイド表示の動作をします。

Ⓕ ノーマル再生 ランダム再生 ：
スライドショーの再生順序（P40）
シングル表示 ：シングル表示（1 画面表示）中

■ こんな表示が出たら ※下表は主な確認 / エラーメッセージの例です。

表示	原因・対策
カードを確認してください。	● SD カードを取り出し、再度入れてみてください。（P9） ● SD 規格に準拠していないカードは使用できません。（P53）
現在、受信できません。 窓際など受信状態のよい場所で受信可能か、ご確認ください。 （E202）	● 電波状況が悪いため、映像を表示することができません。受信できる状態になると、自動的に映像を表示します。
エラーが発生したため、 電源をオフします。 再度電源を入れて ご使用ください。	● 電源を入れ直してください。繰り返し表示される場合は、お近くの「修理ご相談窓口」（P64 ～ 66）にお問い合わせください。
本機の温度が高い（低い）ため 充電機能などが動作しません。 常温でご使用ください。※	● 周囲温度 5 ℃～ 35 ℃で充電してください。周囲温度が低いまたは高いときは、充電にかかる時間が長くなる場合があります。また充電できない場合もあります。（P52）
AC アダプターの電圧が異常です。 故障の可能性がありますので 修理窓口にご相談ください。	● 故障の可能性があります。お近くの「修理ご相談窓口」（P64 ～ 66）にお問い合わせください。
電池が故障している 可能性があります。 修理窓口にご相談ください。※	

※動作表示ランプが約 0.5 秒間隔で点滅します。

2. 故障かな !?

まず、下表でご確認ください。直らない場合は、お近くの「修理ご相談窓口」（P64 ～ 66）またはお買い上げの販売店へお問い合わせください。

本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけないようにお気をつけください。
故障や誤動作の原因になります。

こんなときは	ここを確かめてください
電源が入らない 操作できない 電源が切れない	● ホールド状態になっていませんか？（P7） ● 電池が消耗していませんか？（P11） 電源を切っていても予約録画が始まると、電池を消耗します。 → 電池を十分に充電するか（P11）、AC アダプターを接続して（P10）操作してください。 ● クリップのようなものを使って ［RESET］ボタンを押してください。（本機に SD カードが入っている場合は、SD カードを抜いてから押してください） ［RESET］ボタンを押しても症状が直らない場合は、お近くの「修理ご相談窓口」（P64 ～ 66）にお問い合わせください。 ［RESET］ボタン
電源が切れる	● かばんの中などで、ボタンが押されて電源が切れていませんか？ → ホールド設定をオンにしてください。（P7） ● オフタイマーが設定されていませんか？ → オフタイマーを設定している場合は画面右下に「オフタイマー」が表示されています。設定を解除してください。（P44）
充電できない 充電しても電池持続時間が短い	● 周囲の温度が極端に低いまたは高くありませんか？ → 電池の充電は周囲温度 5 ℃～ 35 ℃で行ってください。（P52） ● はじめての充電や長時間未使用後の充電では電池持続時間が短いことがあります。何回か使用すると戻ります。 ● 充電しても電池持続時間が極端に短い場合は、電池の寿命です。電池の交換は、お近くの「修理ご相談窓口」（P64 ～ 66）にお問い合わせください。 ● SD カードによっては、電池持続時間が極端に短い場合があります。当社製 SD カードで試してください。
本機が SD カードを認識しない （SD カードがサポート外のフォーマットなど）	● Windows 標準のフォーマット機能などで SD カードをフォーマットしませんでしたか？ → 本機でフォーマットしてください。（P45） ● 当社製 SD カードを本機に入れて試してください。
本体が熱い	● 充電中は多少熱くなりますが異常ではありません。
録画ができていない	● 以下の場合は録画ができない、もしくは正しく録画がされません。 ― 録画開始時刻に SD カードが入っていない場合 ― 本機に入れた SD カードが録画可能な SD カードでない場合 • SD カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっている • 録画に十分な録画可能時間が残っていない • 録画可能番組数（最大 99 番組）が記録されている • 認識できない SD カード（サポート外のフォーマットなど） ― 電池残量がなくなった場合 ― パソコンと接続している場合 ― 電波状況が悪い場合 ― 予約録画の時間が重なっている場合

こんなときは	ここを確かめてください
予約録画した番組の最後の部分が録画されていない	● 前の予約番組の終了時刻と次の予約番組の開始時刻が同じときは、前の予約番組の終わり約 30 秒間が録画されません。
レコーダーから持ち出した番組が視聴できない、ビデオファイルリストに表示されない	● レコーダーから持ち出すときの画質を「高画質（VGA）」に設定して持ち出していませんか？ → 本機は「高画質（VGA)」の再生に対応していません。持ち出すときの画質を「ワンセグ画質（QVGA)」に設定してください。
ビデオファイルを 99 番組まで録画することができない	● 他機器やパソコンでビデオファイルの消去やフォーマットをしていませんか？ → 本機でフォーマットしてください。(P45) ● SD カードに「高画質（VGA)」でレコーダーから持ち出した番組が含まれていませんか？ → レコーダーで「高画質（VGA)」で録画した番組を消去してください。
録画した番組が正常に再生されない	● 本機で再生できるビデオファイルですか？ → 本機での再生に対応した機器を使って録画してください。(P24) ● 録画中に電波状況が悪くなると、画面が乱れた状態で録画されます。また、電波状況が悪くて受信できない区間があった場合、この区間は録画されないので、再生するとこの区間をとび越して再生されます。
SD-Jukebox が SD カードを認識しない	● 著作権保護機能に対応していない USB リーダーライターでは SD-Jukebox で認識できません。付属の USB 接続ケーブルを使って本機をパソコンに接続してください。 ● USB 接続ケーブルを抜き差ししてください。 ● SD-Jukebox Ver.5.x 以下を使用していませんか？ → 付属の SD-Jukebox Ver.7.0 を使用してください。 ● お使いのパソコンの USB 端子は正常に動作していますか？ → 他の USB 機器を接続して確認してください。 ● USB ハブや延長ケーブルを使用してパソコンに接続していませんか？ → 付属の USB 接続ケーブルを直接パソコンに接続してください。 ● 当社製 SD カードで試してください。 ● (SDXC メモリーカードをご使用の場合）お使いのパソコンが SDXC メモリーカードに対応しているか確認してください。 http://panasonic.jp/support/sd_w/
音楽再生できない	● 音楽データは SD オーディオ規格に準拠していますか？（P31） ● SD-Jukebox を使って音楽データを書き込みましたか？ → WMA/MP3/AAC 形式ファイルをパソコンのエクスプローラで SD カードに直接転送しても本機で再生できません。 → D-snap ※でライン録音した音楽ファイルは本機で再生できません。
音楽再生時に ・音が途切れる ・音がとぶ ・雑音が多い	● SD-Jukebox から SD カードに書き込んだ音楽データは正常ですか？ → SD-Jukebox に取り込んでいる音楽を確認してください。 ● 当社製 SD カードに音楽を記録して試してください。 ● SD カードを本機でフォーマットしてから（P45）音楽を転送すると、改善される場合があります。
1 曲目から順番に再生しない	●「再生モード」が「ランダム」や「ランダムリピート」になっていませんか？（P29） ● レジューム機能が働いていませんか？（P27）

※ D-snap とは、当社製 SD オーディオプレーヤーのことです。

2. 故障かな !? (つづき)

こんなときは	ここを確かめてください
音楽データを他のパソコンに移動 / コピーできない	● SD-Jukeboxやステレオシステムなどから SD カードに記録した音楽データには暗号技術を利用した著作権保護技術が組み込まれています。SD カードに記録した音楽データは他のパソコンに移動 / コピーすることができません。
付属 CD-ROM のインストールができない	● お使いのパソコンが CD-ROM の動作環境に対応していますか？（P32）
SD-Jukebox Ver.7.0 の取扱説明書(PDF ファイル)が見られない	● Adobe Reader がお使いのパソコンにインストールされていますか？ → Adobe Reader が必要です。アドビシステムズ社のホームページ（http://www.adobe.com/jp/）から Adobe Reader をダウンロードしてください。

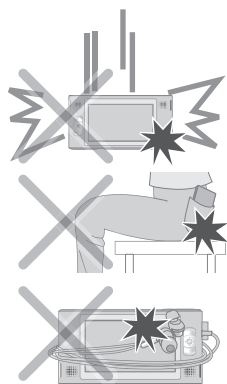
3. Q&A (よくあるご質問)

Q（質問）	A（回答）
地上デジタル放送（ワンセグ）を視聴するのに利用料金はかかるか？	本機での地上デジタル放送（ワンセグ）の視聴については、従来のアナログ放送と同様、NHK の受信料以外の利用料金はかかりません。(2010 年 3 月現在) 詳しくは下記ホームページをご覧ください。 社団法人 デジタル放送推進協会　http://www.dpa.or.jp
どの機器で録画した番組を再生できるか？ レコーダーなどの他機で録画した番組を本機で再生できるか？	当社製テレビやレコーダーで録画した番組を再生できますが、対応していないものもあります。 対応機種については 24 ページをお読みください。
他社製の SD 対応ミニコンポで録音した SD カードを本機で再生できるか？	SDオーディオ規格に準拠していない他社製ミニコンポで録音した場合は、本機で再生できません。
音楽サイトからパソコンや携帯電話にダウンロードした音楽や、Windows Media Player で録音した音楽を本機で再生できるか？	● SD-Jukebox を使ってファイルインポートすると、再生できます。（著作権保護された音楽データはファイルインポートできません） ファイルインポートについて詳しくは、SD-Jukebox の通常モード編の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。 ● 携帯電話にダウンロードした音楽が SD オーディオ規格に準拠していない場合、本機で再生できません。
パソコンに、以前の SD-Jukeboxが入っているが、付属の CD-ROM のインストールが必要か？ 音楽データはどうなるか？	SDXC メモリーカードを使用する場合は、SD-Jukebox Ver.7.0LE のインストールが必要です。 再インストールしても音楽データは削除されません。
どんなSDカードが使えるか？	対応 SD カードについては 53 ページをお読みください。
音楽や写真の削除はどうしたらよいか？	本機で音楽や写真の削除はできません。 音楽の場合は SD-Jukebox やステレオシステムなどを使って、写真の場合は記録した機器などで削除してください。
製造番号はどこにあるか？	本体スタンドを開いたところに記載しています。（P6）

4. 使用上のお願い

本機について

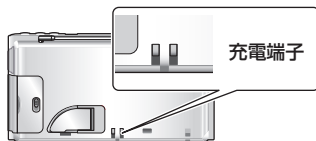
- **本機を落としたり、ぶつけたりしないでください。**
  また、本機に強い圧力をかけないでください。
  - 強い衝撃が加わると、液晶モニターや外装ケースが壊れ、故障や誤動作の原因になります。
  - 本機を入れたかばんを落としたり、ぶつけたりすると、本機に衝撃が加わりますのでお気をつけください。
  - ズボンのポケットに入れたまま座らないでください。
  - ヘッドホンを本機に巻き付けたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えないでください。液晶モニターの破損につながります。
- **浴室など湿気の多い場所に放置しないでください。**
- **本機のスピーカーは防磁設計ではありません。テレビやパソコン等の近くに置かないでください。**
- **スピーカーの前面や側面、底面の穴（音孔）に異物を入れないでください。**
  異物で音が小さくなったり、ひずむなど故障の原因になります。

  また、穴を先端のとがったもので押さないでください。スピーカーが破損して防水性が保てなくなります。

お手入れ

本機の電源を切り、誤操作防止のためホールド設定をオンにしてから（P7）乾いた柔らかい布のようなものでふいてください。AC アダプターをご使用の場合は AC アダプターを抜いてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた柔らかい布のようなものでふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤、浴室 / 浴槽洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがありますので使用しないでください。

充電端子のお手入れについて

定期的に、本機の充電端子を綿棒や柔らかい布などでふいてください。
特に本機に水滴が付いているときは、充電端子に水滴が残らないよう、ていねいにふきとってください。

－このマークがある場合は－

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報
このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。 製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

4. 使用上のお願い（つづき）

液晶モニターについて

- 液晶モニターを強く押さえないでください。画面にむらが出たり、故障の原因になります。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

液晶モニターは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。液晶モニターの画素については99.99%以上の高精度管理をしておりますが、0.01%以下で画素欠けするものがあります。
これらの点は、SD カードの映像には記録されませんのでご安心ください。

- 液晶モニターのお手入れは、乾いた柔らかい布のようなもの（眼鏡ふきなど）でふいてください。乾いた布で強くこすると液晶モニターに傷が付くことがありますのでお気をつけください。

内蔵電池について

充電環境
充電は周囲温度5 ℃～35 ℃で行ってください。温度が低いまたは高いときは、充電にかかる時間が長くなったり、充電できない場合があります。この場合、液晶モニターにメッセージ（P47）が表示され、動作表示ランプが約 0.5 秒間隔で点滅します。

■ 上手にお使いになるには

以下の使いかたをすることにより、電池寿命（充電回数）が長持ちします。

- エコ充電設定を「オン」にして充電してください。（P11）
- 長期間使用しない場合は、定期的に（約 1 カ月に一度）充電してください。

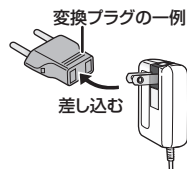
AC アダプターについて

機器を電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（AC アダプターのプラグ）へ容易に手が届くようにしてください。

- 必ず、付属のACアダプターをお使いください。
- 使用後は、必ず AC アダプターを電源コンセントから抜いてください。（接続したままにしていると、AC アダプター単体で約 0.1 W の電力を消費しています）
- ACアダプターの端子部を汚さないでください。

AC アダプターを海外で使用するには

AC アダプターは、電源電圧（100 V ～ 240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）でご使用いただけます。市販の変圧器などを使用すると、故障する恐れがあります。

国、地域、滞在先によって電源コンセントの形状は異なります。海外旅行をされる場合は、その国、地域、滞在先に合ったプラグを準備してください。変換プラグは、お買い上げの販売店にご相談のうえ、お求めください。

充電のしかたは、国内と同じです。AC アダプターは日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での一時的な使用は問題ありません。

- ご使用にならないときは変換プラグをACコンセントから外してください。

SD カードについて

SD カードを高温になるところや直射日光のあたるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない

また、折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えない

- SD カードが破壊される恐れがあります。また、SD カードの内容が破壊されたり、消失する恐れがあります。
- 使用後や保管、持ち運びするときはケースや収納袋に入れてください。
- カード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また手などで触れないでください。

メモリーカードを廃棄 / 譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。
廃棄 / 譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

■ 本機で使用できる SD カード（2010 年 3 月現在）

SD メモリーカード /miniSD カード※ / microSD カード※	SD 規格に準拠した FAT12、FAT16 形式でフォーマットされたもの
SDHCメモリーカード/microSDHCカード※	SD 規格に準拠した FAT32 形式でフォーマットされたもの
SDXC メモリーカード	SD 規格に準拠した exFAT 形式でフォーマットされたもの

※本機で使用する場合は、必ず専用のアダプターに装着してお使いください。

- 本機はSDXC対応機器（SDメモリーカード/SDHCメモリーカード/SDXCメモリーカードに対応した機器）です。SDHC メモリーカード /SDXC メモリーカードを他の機器で使う場合は、各メモリーカードに対応しているか確認してください。
- 使用可能領域は表示容量より少なくなります。
- 4 GB ～ 32 GB のカードは SDHC ロゴのある（SD 規格準拠）カードのみ使用できます。
- 48 GB、64 GB のカードは SDXC ロゴのある（SD 規格準拠）カードのみ使用できます。
- SD カードによっては、電池持続時間が極端に短くなる場合があります。当社製の SD カードをお使いになることをおすすめします。
- SD カードをご購入後はじめて使用される際は、本機で SD カードをフォーマット（P45）することをおすすめします。
- SD カードのスピードクラス（連続的な書き込みに関する速度規格）に関係なく、上記の SD カードを使用できます。
- マルチメディアカードは使用できません。
- 対応記録メディアの詳細は 56 ページをお読みください。

5. 本機を廃棄するときのお願い

ご使用済み製品の廃棄に際しては、本機に内蔵している電池を取り出し、電池のリサイクルにご協力ください。電池の取り出しかたについては 55 ページをお読みください。

- 取り出した電池はお早めにリサイクル協力店へご持参ください。

製品を廃棄するとき以外は絶対に分解しないでください。

⚠ 危険	**本機専用の充電式電池です この機器以外に使用しない** 取り出した充電式電池は充電しないでください。 ● **火への投入、加熱をしない** ● **くぎで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしない** ● **⊕ と ⊖ を金属などで接触させない** ● **ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管しない** ● **電子レンジやオーブンなどで加熱しない** ● **火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・放置しない** ● **水中への投入をしない** 発熱・発火・破裂の原因になります。 **電池の液がもれたときは、素手でさわらない** ● 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。 ● 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。
⚠ 警告	**取り外したねじなどは、乳幼児の手の届くところに置かない** 誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。 ● 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

本機の使用電池

名称　　：リチウムイオン（Li-ion）充電式電池
公称電圧：DC 3.7 V

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。

- ホームページ　http://www.jbrc.net/hp

■ 電池の取り出しかた

電池を使いきってから分解してください。

この図は、本機を廃棄するための説明であり、修理用の説明ではありません。
分解した場合、修復は不可能です。

- ドライバーを使い、以下の手順で分解してください。（ドライバーは付属していません）
- 上手に取り出せない場合、「お客様ご相談センター」へお問い合わせください。（P64）

使用済み充電式電池の取り扱いについて
- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

6. 仕様

電源	DC 3.7 V（内蔵電池使用時）/DC 5.0 V、500 mA（AC アダプター使用時）
消費電力	2.0 W

充電時間（周囲温度25℃で充電時）		通常充電：約 5 時間 エコ充電：約 4 時間 ● 充電は周囲温度 5 ℃～ 35 ℃で行ってください。
推奨動作温度		0 ℃～ 40 ℃
液晶ディスプレイ（アスペクト比 16:9）		5V 型 （V 型は有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です） 画素数：横 480 ×縦 272
画面寸法		幅 110.7 mm、縦 62.4 mm、対角 127.1 mm
スピーカー		330 mW+330 mW（8 Ω）
接続端子	**ヘッドホン端子**	3.0 mW+3.0 mW（16 Ω 時） ∅3.5 mm ステレオミニジャック
	USB 端子	USB 2.0（High Speed）
本体寸法		幅 178.8 mm ×高さ 92.9 mm ×奥行き 19.0 mm（突起部除く）
最大外形寸法		幅 178.8 mm ×高さ 94.4 mm ×奥行き 21.1 mm（JEITA） 幅 178.8 mm ×高さ 91.4 mm ×奥行き 50.5 mm（本体スタンド使用時）
質量（バッテリーを含む）		約 273 g
防水		保護等級：IPX6/IPX7 相当
対応記録メディア		SD メモリーカード（8 MB ～ 2 GB） SDHC メモリーカード（4 GB ～ 32 GB） SDXC メモリーカード（48 GB、64 GB）

テレビ / 録画

ワンセグテレビ放送を視聴することができるのは、日本国内のみです。

受信チャンネル	地上デジタルテレビ放送 1 セグメント部分受信サービス（ワンセグ）： UHF13 ch ～ 62 ch（データ放送、緊急警報放送受信非対応）
連続録画時間	最大 8 時間（AC アダプター使用時）
録画番組数	SD カード容量にかかわらず 1 枚あたり最大 99 番組
予約録画番組数	最大 12 番組
録画ファイル形式 / 画質	SD VIDEO 規格（ISDB-T Mobile Video Profile）準拠 / 320 × 240　15 fps（412 kbps）

音楽

サンプリング周波数※1	32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
再生の圧縮 / 伸張方式	AAC 方式、MP3 方式、WMA 方式
チャンネル数	2 ch ステレオ

※1 対応データ形式についての詳しい説明は、SD-Jukebox の通常モード編の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。

写真

再生可能ファイル形式	JPEG ベースライン方式、DCF 準拠、Exif2.2 準拠 マルチピクチャーフォーマット（HD サムネイル）対応
画素数	64 × 64 ～ 5120 × 3840
最大ファイルサイズ	10 MB
最大フォルダ数	1000
最大ファイル数	40000

電池持続時間

	明るさ「− 5」	明るさ「± 0」	明るさ「＋ 5」
テレビを見る	約 5 時間	約 4 時間	約 3 時間
テレビを録画する	約 5 時間	約 4 時間	約 3 時間
ビデオを見る	約 5 時間 30 分	約4時間 30 分	約 3 時間 30 分
音楽を聴く	約 6 時間 30 分	約 6 時間 30 分	約 6 時間 30 分
写真を見る	約 5 時間 30 分	約4時間 30 分	約 3 時間 30 分

- お買い上げ時、「明るさ」は「± 0」に設定されています。設定を下げることによって、電池持続時間を延ばすことができます。（「明るさ」を設定するには 42 ページをお読みください）
- 「コントラスト自動調整」を「オン」に設定している場合（P42）、電池持続時間が短くなる場合があります。
- 上記時間は、通常充電で充電した場合です。エコ充電で充電した場合の電池持続時間は、通常充電時の約90%の時間となります。

（電池持続時間測定条件）

テレビを見る	放送波受信、本体アンテナ受信感度：高感度
テレビを録画する	視聴録画時、本体アンテナ受信感度：高感度、当社製 SD カード使用
ビデオを見る	当社製 SD カード使用
共通の設定	画面オフ設定：常時画面オン、画質モード：ダイナミック、音量：14、 スピーカー使用、反響音を抑える / 小声を大きくする：オフ、 サウンド：スタンダード、コントラスト自動調整：オフ

音楽を聴く	再生ファイル：ビットレート 96 kbps の AAC、当社製 SD カード使用、 省電力設定：オン、音量：14、スピーカー使用、 反響音を抑える：オフ、サウンド：フラット、再生中の写真表示設定：オフ

写真を見る	画質モード：ダイナミック、BGM：オフ、当社製 SD カード使用

- 電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。

ACアダプター

入力	AC 100 V— 240 V、50/60 Hz、13 VA
出力	DC 5.0 V　720 mA

バッテリーチャージャースタンド

出力	DC 5.0 V　500 mA

リチウムイオン内蔵電池

電圧 / 容量（最小）	DC 3.7 V　1400 mAh

録画可能時間の目安（ビットレート412 kbpsで算出）

SDカード容量	録画可能時間※2
128 MB	約41分
256 MB	約1時間20分
512 MB	約2時間39分
1 GB	約5時間20分
2 GB	約10時間51分
4 GB	約21時間19分
6 GB	約32時間25分

SDカード容量	録画可能時間※2
8 GB	約43時間24分
12 GB	約65時間28分
16 GB	約87時間20分
24 GB	約126時間49分
32 GB	約175時間12分
48 GB	約257時間31分
64 GB	約349時間28分

- SDカードにデータが入っている場合は、録画時間は短くなります。

※2 放送局から送信されるビットレート（単位時間あたりの情報量）は、放送局や番組によって異なります。本機では、ビットレートの大きい番組（412 kbps）を想定して録画可能時間の目安を表示しています。そのため、情報量の少ない番組を録画する場合は、録画可能時間よりも長く録画できます。

例：録画可能時間の表示が45分の場合でも、1時間録画できたなど
（時間の差は録画した番組の情報量によって変わります）

- この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
- 本機では、フォントデータの制限により表示できない文字があります。
（表示できない文字は「_」と表示されます）
表示可能文字　日本語：JIS第一水準 / 第二水準準拠
- Windows Media Audio 9 (WMA9) 対応（WMA9のProfessional、Lossless、VoiceおよびMBR※3には対応していません）

※3 MBR：Multiple Bit Rateは、1つのファイル内に複数の異なるビットレートで記録された音声を含む形式のことです。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

	危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）**

	してはいけない内容です。		実行しなければならない内容です。

⚠ 危険

水のかかるおそれのある場所で、AC アダプターを使わない

浴室、キッチン、洗濯場などで使用すると感電の原因になります。

本機は充電式電池を内蔵しています

- **火中投入、加熱、高温での充電・使用・放置をしない**
- **電子レンジやオーブンなどで加熱しない**

発熱・発火・破裂の原因になります。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、AC アダプターを抜く

- **煙が出たり、異常なにおいや音がする**
- **映像や音声が出ないことがある**
- **内部に水や異物が入った**
- **電源プラグが異常に熱い**
- **本体や AC アダプターが破損した**

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

⚠ 警告

分解禁止

分解、改造をしない
（製品廃棄時に充電式電池を取り出すための分解は除く）

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

接触禁止

雷が鳴ったら､本機の金属部やACアダプターのプラグに触れない

感電の原因になります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で、AC アダプターの抜き差しはしない

感電の原因になります。

歩行中や乗り物を運転中はテレビなどの映像を見ない

交通事故の原因になります。

乗り物を運転中に操作しない

事故の原因になります。

乗り物を運転中や、周囲の音が聞こえない危険な場所でヘッドホンを使わない

事故の原因になります。
踏切や駅のホーム、車道、工事現場など、特にご注意ください。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。

ACアダプターのコードやプラグを破損するようなことはしない（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど）

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだら、すぐに医師にご相談ください。

⚠警告

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V ～ 240 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

内部に水などの液体をかけたりぬらしたりしない

本機の内部に入ると、ショートや発熱の原因になります。

- 本機を水のかかるところで使用するときは、カードふた、端子ふたを確実に閉めてください。
- 特にお子様にはご注意ください。

AC アダプターのプラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- AC アダプターを抜き、乾いた布でふいてください。

AC アダプターのプラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

⚠注意

水のかかるおそれのある場所で、バッテリーチャージャースタンドを使わない

内部に水が入ると故障の原因になることがあります。

- バッテリーチャージャースタンドは防水仕様ではありません。

電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※の原因になることがあります。

※血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

アンテナを目や顔に近づけない、人に向けない

アンテナの先端に接触して、けがの原因になることがあります。

- アンテナを使用するときは、十分注意してください。

⚠ 注意

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温 (約 60 ℃以上) になります。本機や AC アダプターなどを絶対に放置しないでください。
火災の原因になることがあります。

- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

スピーカーに磁気の影響を受けやすいものを近づけない

スピーカーの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。

- スピーカーは防磁設計ではありません。テレビやパソコン等の近くに置かないでください。

ヘッドホン接続前に、音量を下げる

音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。

- 音量は少しずつ上げてご使用ください。

病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。

付属の AC アダプターを使う

付属外の AC アダプターで使用すると、火災や感電の原因になることがあります。

ACアダプターを抜く

長期間使わないときや、お手入れのときは、AC アダプターを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- カードは、保護のため取り出しておいてください。

7. 保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・使いかた・お手入れなどは・・・

■ まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話　　　（　　　）　　　ー

お買い上げ日　　　　　年　　月　　日

修理を依頼されるときは・・・

「こんな表示が出たら」「故障かな！？」（47～50 ページ）でご確認のあと、直らないときは、まず AC アダプターを抜いて、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

●製品名	**ポータブルテレビ**
●品　番	**SV-ME650**
●故障の状況	**できるだけ具体的に**

● **保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。**
保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間
（但し、CD-ROM内のソフトウェアの内容は含みません）

● **保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。**

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料　診断・修理・調整・点検などの費用

部品代　部品および補助材料代

出張料　技術者を派遣する費用

※ **補修用性能部品の保有期間** 8年
当社は、このポータブルテレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

安全上のご注意

その他

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

※「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

●修理に関するご相談は・・・

パナソニック 修理ご相談窓口

電 話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-554**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、
各地の「修理ご相談窓口」におかけください。

●使いかた・お手入れなどのご相談は・・・

パナソニック お客様ご相談センター 365日 受付9時～20時

電 話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-365**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**
■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

※ ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびパナソニックグループ関係会社（以下「当社」）は、お客様の個人情報をパナソニック製品に関するご相談対応や修理サービスなどに利用させていただきます。
併せて、お問い合わせ内容を正確に把握するため、ご相談内容を録音させていただきます。
また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいておりますので、ご了承願います。
当社は、お客様の個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

各地域の 修理ご相談窓口

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地区	拠点	電話番号	住所
北海道地区	札幌	☎(011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭川	☎(0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
	帯広	☎(0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
	函館	☎(0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）
東北地区	青森	☎(017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
	秋田	☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩手	☎(019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮城	☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山形	☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福島	☎(024)991-9308	郡山市亀田1丁目51-15
首都圏地区	栃木	☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群馬	☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨城	☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼玉	☎(048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千葉	☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東京	☎(03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山梨	☎(055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
	神奈川	☎(045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新潟	☎(025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石川	☎(076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富山	☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福井	☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長野	☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静岡	☎(054)287-9000	静岡市葵区千代田7丁目7-5
	愛知	☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐阜	☎(058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	高山	☎(0577)33-0613	高山市花岡町3丁目82
	三重	☎(059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋賀	☎(077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京都	☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大阪	☎(06)6359-6225	大阪市城東区関目2丁目15-5
	奈良	☎(0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎(073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵庫	☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥取	☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米子	☎(0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松江	☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出雲	☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜田	☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡山	☎(086)242-6236	岡山市北区田中138-110
	広島	☎(082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山口	☎(083)973-2720	山口市小郡下郷220-1

7. 保証とアフターサービス（よくお読みください）（つづき）

地区	県	電話番号	住所
四国地区	香 川	☎(087)868-6388	高松市勅使町152-2
	徳 島	☎(088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高 知	☎(088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛 媛	☎(089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福 岡	☎(092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐 賀	☎(0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長 崎	☎(095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大 分	☎(097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮 崎	☎(0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊 本	☎(096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
	天 草	☎(0969)22-3125	天草市港町18-11
	鹿児島	☎(099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
	大 島	☎(0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2
沖縄地区	沖 縄	☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html　1109

SD-Jukebox のご使用上の制限

SD-Jukebox は音楽文化の健全な発展と正当な購入者の権利を保護するため、暗号技術を利用した著作権保護技術が組み込まれています。このため、ご使用いただくにあたり下記の制限があります。

- SD-Jukebox は音楽データを暗号化してハードディスクに記録します。暗号化された音楽データを別のフォルダやドライブ、他のパソコンに移動 / 複写して使用することはできません。
- ご使用の CPU ならびにハードディスクの固有情報を暗号化処理のために使用しております。そのため、どちらか一方でも交換すると、それ以前の音楽データが使用できなくなる場合があります。

8. さくいん

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で
「ご愛用者登録」をしてください

お宅の家電情報をまとめて登録管理！エンジョイポイントをためて
プレゼントに応募！アンケートにもご協力をお願い申し上げます。

http://club.panasonic.jp/

http://mobile.club.panasonic.jp/

※このサービスはWEB限定のサービスです。

最新のサポート情報は、下記サポートサイトでご確認ください。

http://panasonic.jp/support/

愛情点検　長年ご使用のポータブルテレビの点検を！

こんな症状はありませんか	・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・映像や音声が出ないことがある ・内部に水や異物が入った ・本体やACアダプターが破損した ・その他の異常や故障がある

▼

ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

パナソニック株式会社
AVC ネットワークス社　ネットワーク事業グループ
〒 571-8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

F0310RE1050 (7000 Ⓑ)